

令和7年度

幹線市道整備事業

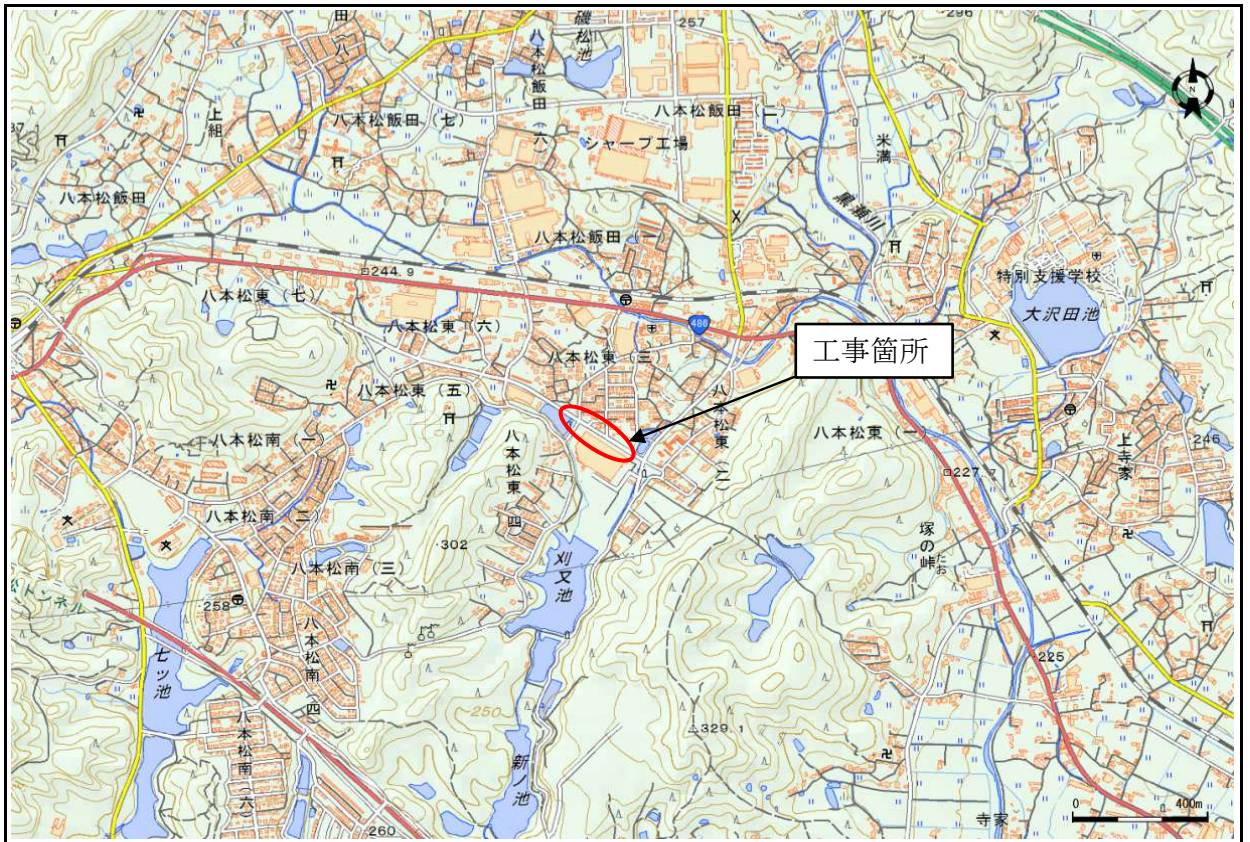
飯田工業団地線(2工区)道路改良工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松東三丁目、八本松東四丁目

令和7年度 幹線市道整備事業
飯田工業団地線（2工区）道路改良工事
位置図

広域図



詳細図



特記仕様書

(令和7年度 幹線市道整備事業 飯田工業団地線(2工区) 道路改良工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム(発注者指定型)
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 工程
 - (1) 工事着手予定日
2. 安全対策
 - (1) 立入防止施設の設置
 - (2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) 建設発生木材(搬出)
5. 工事支障物件
 - (1) 地下・地上障害物

第4章 施工管理

1. 出来形管理
 - (1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 補助事業におけるエンブレムの掲示

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

- ・直接工事費に係る現場作業

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和7年8月)広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(発注者指定型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(発注者指定型)である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要

領」に基づくこと。

- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

- 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とす

るものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規

定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

- 1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

- 2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた

後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
セメント及び混和材	セメント系固化材	
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	種子・肥料	

3. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 工程

(1) 近隣企業との調整

工事の着手にあたっては、施工計画により事前に企業と協議を行い、日程等を調整して施工すること。

2. 安全対策

(1) 立入防止施設の設置

場所・範囲 NO. 0～NO. 7付近右側の既設立入防止柵を撤去する範囲

時期 既設立入防止柵を撤去後すみやかに

期間 工事期間中

使用条件 施工区間において、第三者が容易に侵入出来ないようガードフェンス等（H=1.8m以上）の立入防止施設を設置すること。なお、設置費用は共通仮設費率分に含む。

工事の確認 現場作業完了後には土地所有者による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から47日間（2人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警

備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工区内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、485m³(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂質土

(名称)	カワモトリサイクルセンター
(所在地)	東広島市志和町内字塚土山10001
(運搬距離)	9.2 km

(2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 7.3 km を見込んでいる。

(3) 建設発生木材(搬出)

当該工事により発生する建設発生木材は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 15.1 km を見込んでいる。

5. 工事支障物件

(1) 地下・地上障害物

支障物件名	上水道(給水管)
管理者	広島県水道広域連合企業団 東広島事務所
位置	AN0.5付近 右側

支障物件名	下水道管渠
管理者	東広島市 下水道部 下水道施設課
位置	AN0.3付近 右側

ア 受注者は、掘削影響範囲内の埋設位置の確認のため、試掘調査が必要となる場合は、詳細な掘削箇所及び掘削範囲について、工事打合せ簿により監督職員と協議のうえ決定するものとし、変更の対象とする。

イ 工事区域の埋設管移設に要する費用については、現在見込んでいない。埋設管に近接した工事の施工に当たって、現地精査に基づき管理者との協議により埋設管の移設が必要となった場合、工事打合せ簿により監督職員と協議のうえ、変更の対象とする。

第4章 施工管理

1. 出来形管理

(1) 表層工及び道路面に天端が接する構造物

本工事において、路面に天端が接する構造物の出来高管理は下記のとおり行うこと。なお、下記以外の項目については、広島県制定「土木工事施工管理基準(令和7年8月)」に基づいて実施しなければならない。

工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
道路面に天端が接する構造物(コンクリートブロック工、コンクリート擁壁工、側溝工等)	基準高さ▽	±30	施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

第5章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。
なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 補助事業におけるエンブレムの掲示

本工事においては、防衛省から「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の交付を受けた調整交付金事業の工事であることを周辺住民等への周知を目的として、防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムを明示すること。

なお、工事看板等へのエンブレムの掲示に当たっては、エンブレムの下部に防衛省、及び(調整交付金事業)を記載し、施設等の入り口など可能な限り周知効果の高い場所に掲示すること。

《エンブレムや防衛省における地域社会との協力についての詳細はこちら》

URL : <https://www.mod.go.jp/j/approach/chouwa/sesaku/index.html>

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂 片切掘削	m3		300	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(盛土部)	盛土部 法面締固め無し 現場制約無し	m2		4	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	砂質土	m3		370	レベル4
残土等処分	砂質土	m3		370	レベル4
法面工		式		1	レベル2
植生工		式		1	レベル3
人工張芝	張芝 幅100cm ワラ付	m2		4	レベル4
擁壁工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り(掘削)	土砂	式		1	レベル4
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
基面整正		式		1	レベル4
場所打擁壁工(構造物単位)		式		1	レベル3
小型重力式擁壁		m3		184	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種 300A[300×300×2000]	m		92	レベル4
自由勾配側溝	B300×H300～700	m		45	レベル4
側溝蓋	自由勾配側溝B300用コンクリート蓋 300[400×95×500]	枚		35	レベル4
側溝蓋	落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種ふた 300[412×95×500]	枚		16	レベル4
側溝蓋	自由勾配側溝B300用グレーチング蓋 300用×1000 細目 T-2	枚		4	レベル4
側溝蓋	鋼製グレーチング-ノンスリップかさ上げ JIS,T-2,細目,みぞ幅300[997×410]	枚		1	レベル4
集水桝・マンホール工		式		1	レベル3
プレキャスト集水桝	300×300×1000 グレーチング 細目110°開閉	箇所		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
道路付属物撤去工		式		1	レベル3
視線誘導標撤去	コンクリート建込	本		2	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
立入防止柵撤去工		式		1	レベル3
立入防止柵撤去（仮置き）	H=2.2m(忍び返し付) 支柱間隔2m 基礎ブロック 250×250×450mm	m		137	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋 機械施工	m3		0.6	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	Co(無筋)殻	m3		0.6	レベル4
殻処分	Co（無筋）殻	t		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
管渠工		式		1	レベル3
暗渠排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm	m		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		94	レベル4
舗装		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
張りコンクリート工		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
張りコンクリート	t = 10 c m	m2		17	レベル4
道路付属施設工		式		1	レベル2
境界工		式		1	レベル3
境界鋳	50 × 50 × 4mm 2つ穴	枚		9	レベル4
道路付属物工		式		1	レベル3
車線分離標	高さ_650mm 貼付式	本		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
木根等処分費		式		1	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
原位置試験	簡易支持力測定	式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					

工事数量総括表

頁0 -0005

[illegible]

計 画 平 面 図

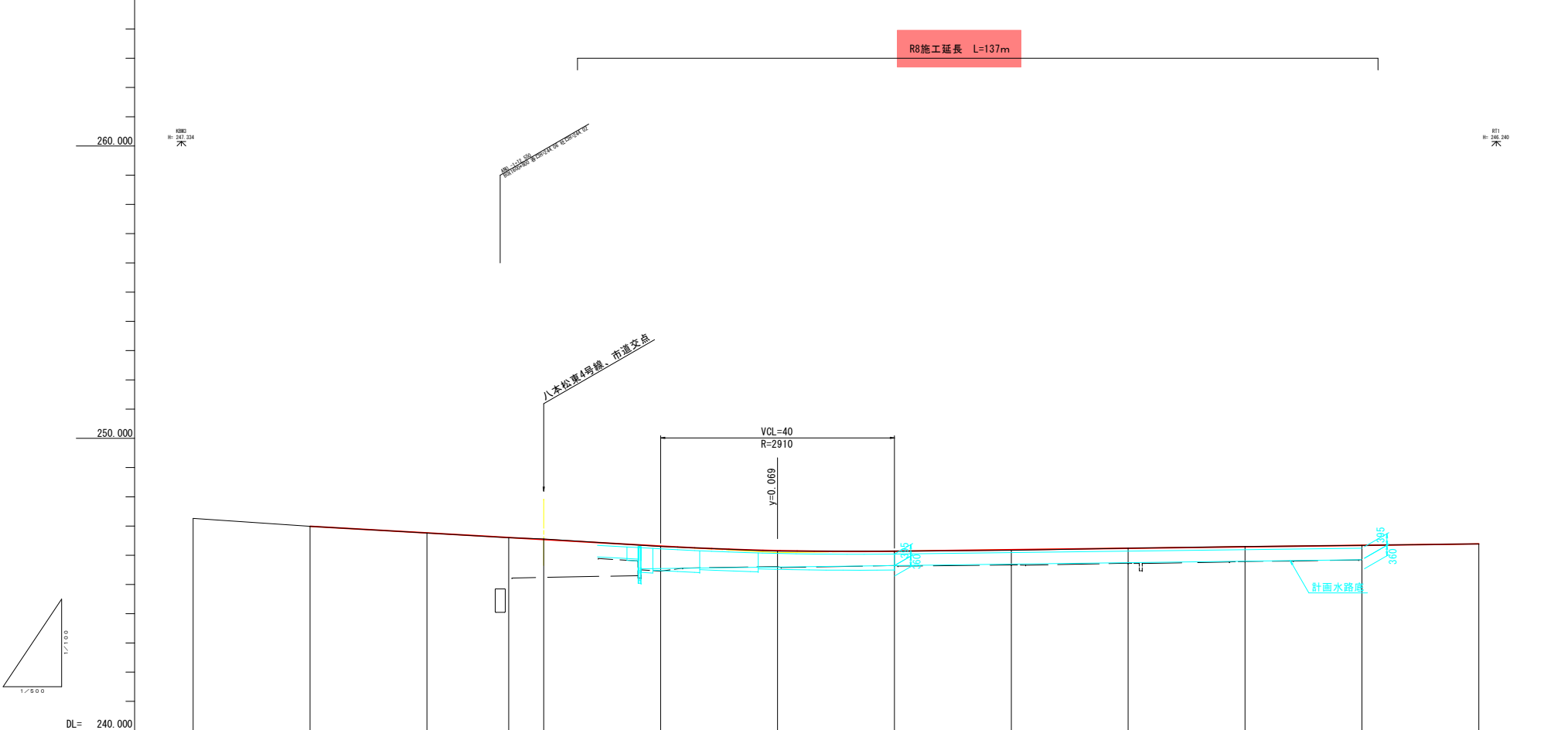
S=1:500

S=1:500

IP	B路線 IP1
IA	21-27-57
R	50.000
CL	18.732
SL	0.890
TL	9.477

IP	B路線 IP2
IA	45-43-51
R	60.000
CL	47.889
SL	5.117
TL	25.302

図面番号	1 / 12	縮 尺	1 : 500
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	計画平面図	番 号	1 / 1
路線 河川 名	飯田工業団地線（２工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			



勾 配 図										
盛 土	0.000	0.000	0.000	0.010	0.010	0.000	0.020	0.000	0.000	0.000
切 土	0.000		0.020			0.000		0.000	0.010	0.000
計 画 高	246.990	246.765	246.608	246.540	246.315	246.158	246.140	246.190	246.240	246.290
地 盤 高	247.20	246.95	246.70	246.60	246.50	246.30	246.14	246.14	246.24	246.30
追 加 距 離	-60.000	-40.000	-20.000	-6.000	0.000	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000
区 間 距 離	0.000	20.000	20.000	14.000	6.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
測 点	→NO.-3	→NO.-2	→NO.-1	→NO.-1 +14.0	→NO.0	→NO.1	→NO.2	→NO.3	→NO.4	→NO.5
曲 率 図	L=220.000									
片 勾 配	-1.500%									-1.500%
拡 幅										

図面番号	2 / 12	縮 尺	図 示
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	縦断面 (A路線)	番号	1 / 1
路線 河川 名	飯田工業団地線 (2工区)		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

道路規格と舗装構成

道路規格 第4種 第3級			
設計速度 V = 40 km/h			
交通の区分 N4			
設計 CBR 8 %			
目標とする値 TA = 14.0			
信頼度 : 90%			
舗装構成	舗装厚	等価換算係数	TA値
表層工 (再生密粒度アスコン)	5 cm	1.00	5.00
基層工 (再生粗粒度アスコン)	0 cm	1.00	0.00
上層路盤工 (再生粒度調整碎石)	15 cm	0.35	5.25
下層路盤工 (再生切込碎石)	15 cm	0.25	3.75
計	35 cm		14.00

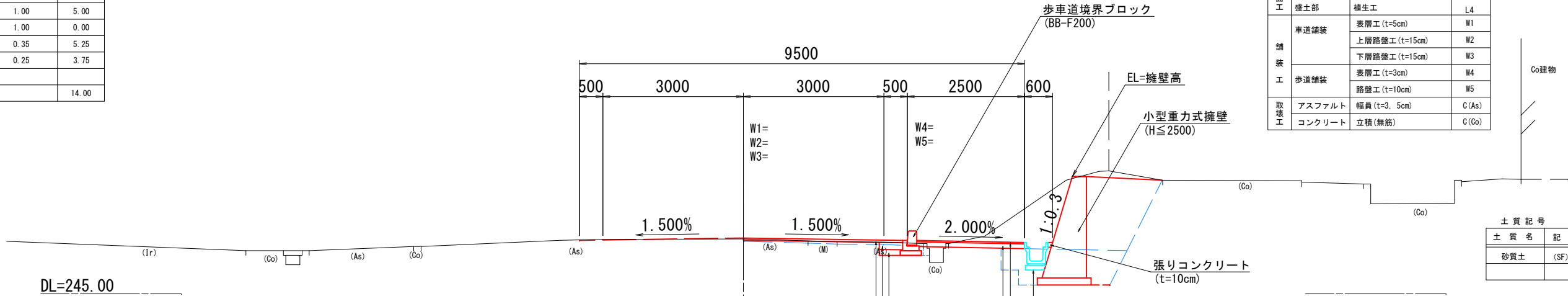
標準横断面図(1)

(主道路) S=1:50

D=区間距離
No. 4付近
GH=地盤高
FH=計画高

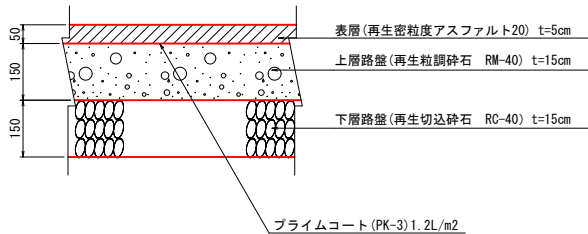
数量記号一覧表			
工種	種別	規格・細別	記号
土工	掘削	W<5.0	C(SF)
	床掘		E1(SF)
	床掘(掘削)		E2(SF)
	埋戻	1m≦W<4m	Fu(C)
		W1<1m, W2<1m	Fu(D)
	基面整正		K(SF)
法面工	切土部		L1(SF)
	盛土部		L2(SF)
舗装工	車道舗装	表層工(t=5cm)	W1
		上層路盤工(t=15cm)	W2
		下層路盤工(t=15cm)	W3
	歩道舗装	表層工(t=3cm)	W4
		路盤工(t=10cm)	W5
取壊工	アスファルト	幅員(t=3, 5cm)	C(As)
	コンクリート	立積(無筋)	C(Co)

土質記号	
土質名	記号
砂質土	(SF)



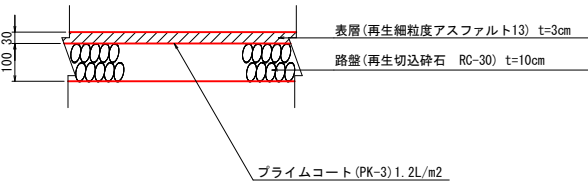
車道舗装

S=1:10

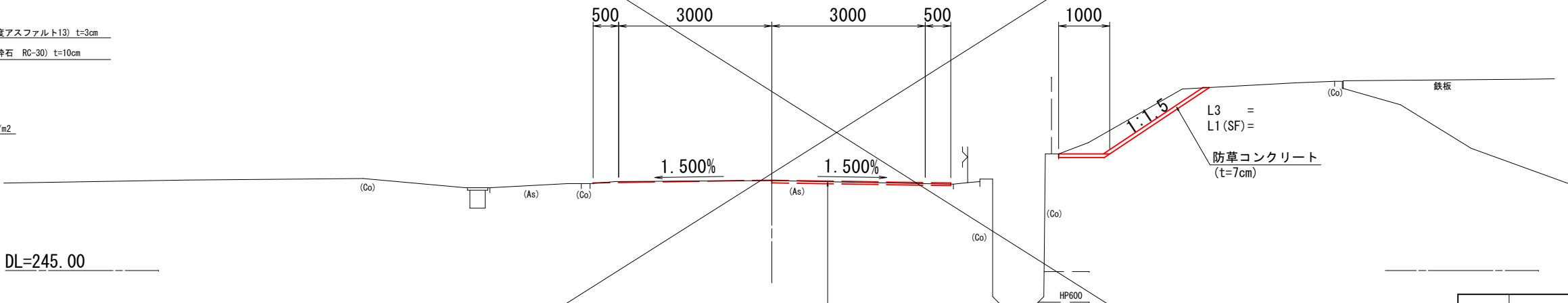


歩道舗装

S=1:10

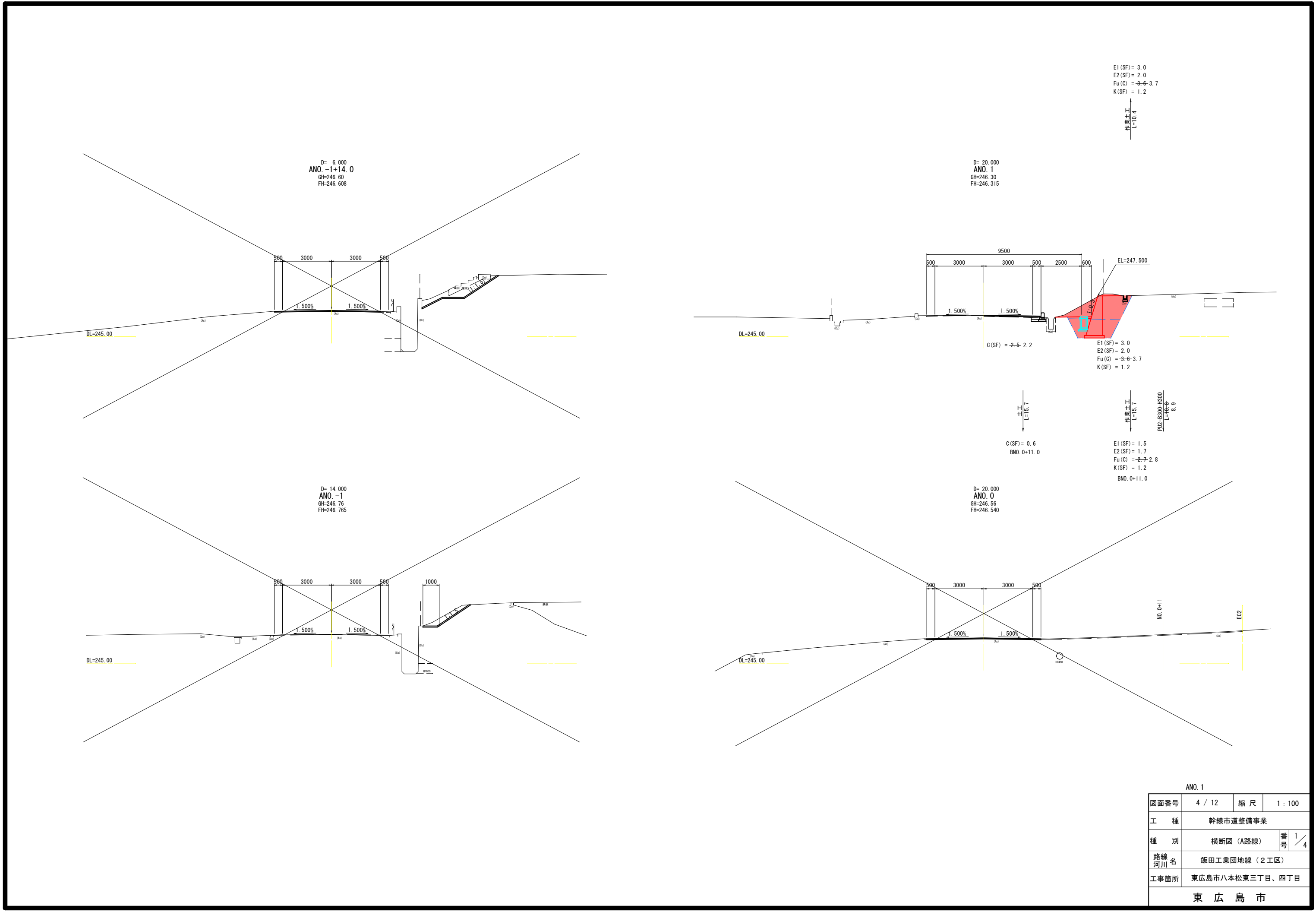


D=区間距離
NO. -1付近
GH=地盤高
FH=計画高



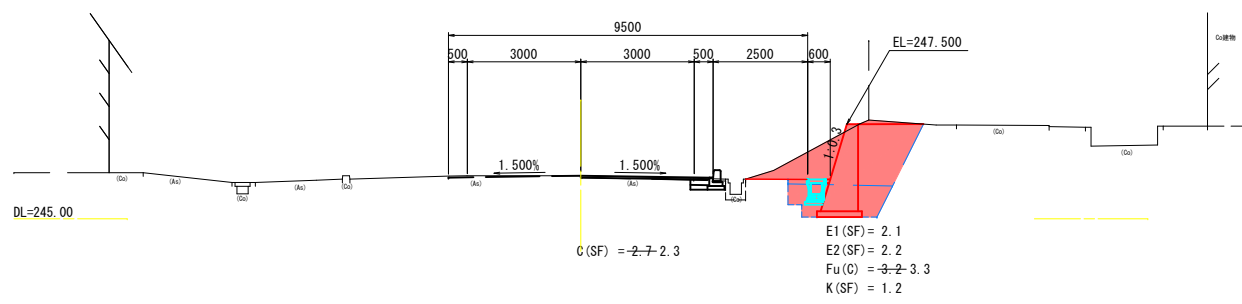
(表層工(再生密粒度アスファルト20) t=5cm)

図面番号	3 / 12	縮 尺	1 : 50
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	標準横断面図	番号	1 / 1
路線 河川	飯田工業団地線（2工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

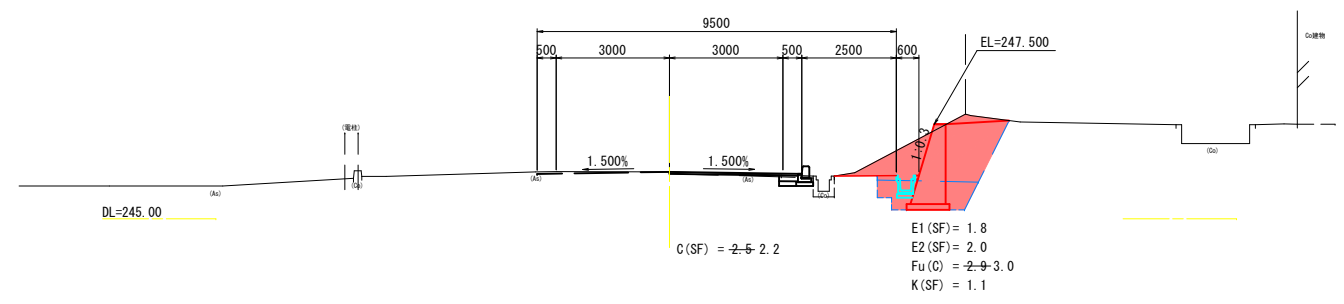


ANO. 1			
図面番号	4 / 12	縮 尺	1 : 100
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	横断図 (A路線)	番号	1 / 4
路線 河川 名	飯田工業団地線 (2 工区)		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

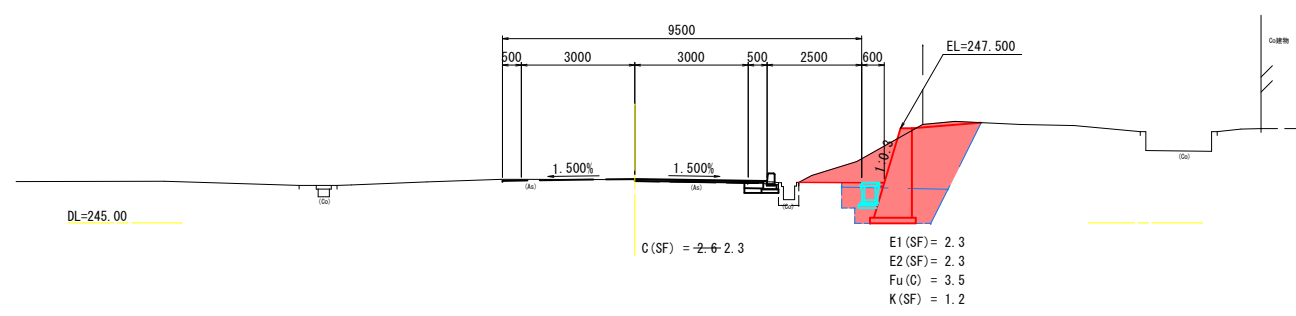
D= 20.000
ANO. 3
GH=246.14
FH=246.140



D= 20.000
ANO. 5
GH=246.24
FH=246.240

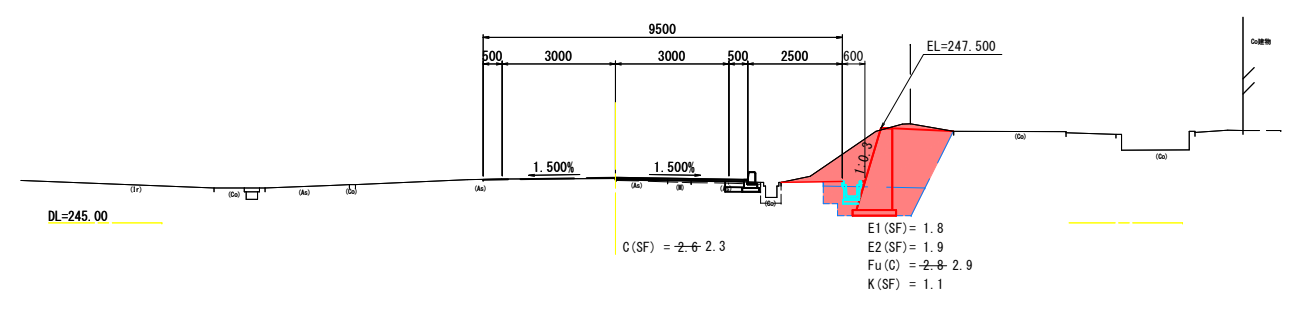


D= 20.000
ANO. 2
GH=246.14
FH=246.159



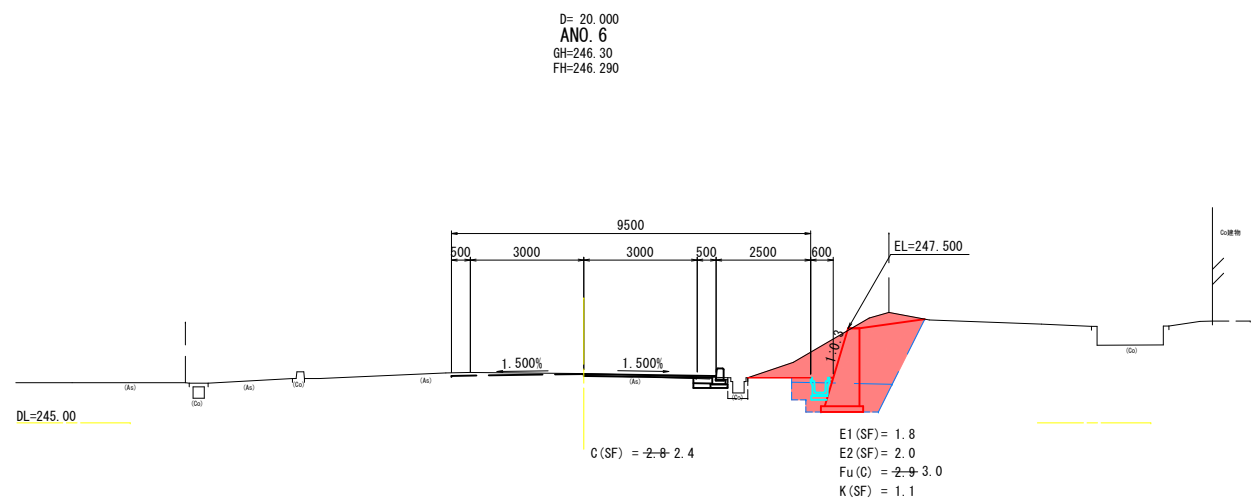
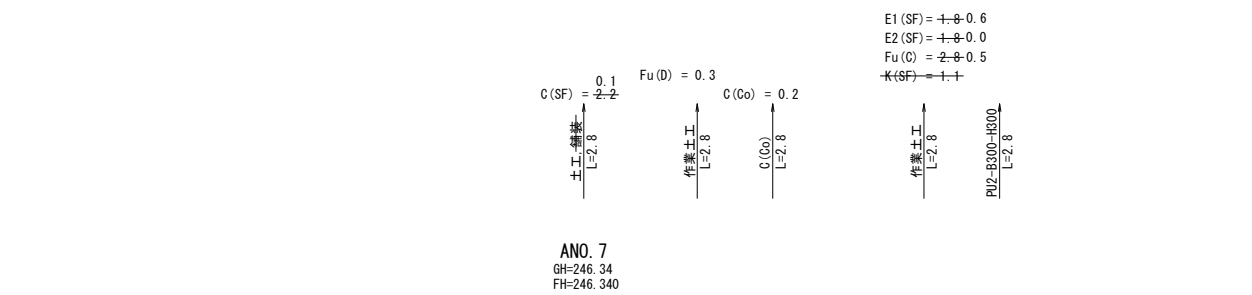
作 業 土 工
L=9.6
E1(SF) = 2.3
E2(SF) = 2.3
Fu(C) = 3.5
K(SF) = 1.2

D= 20.000
ANO. 4
GH=246.17
FH=246.190

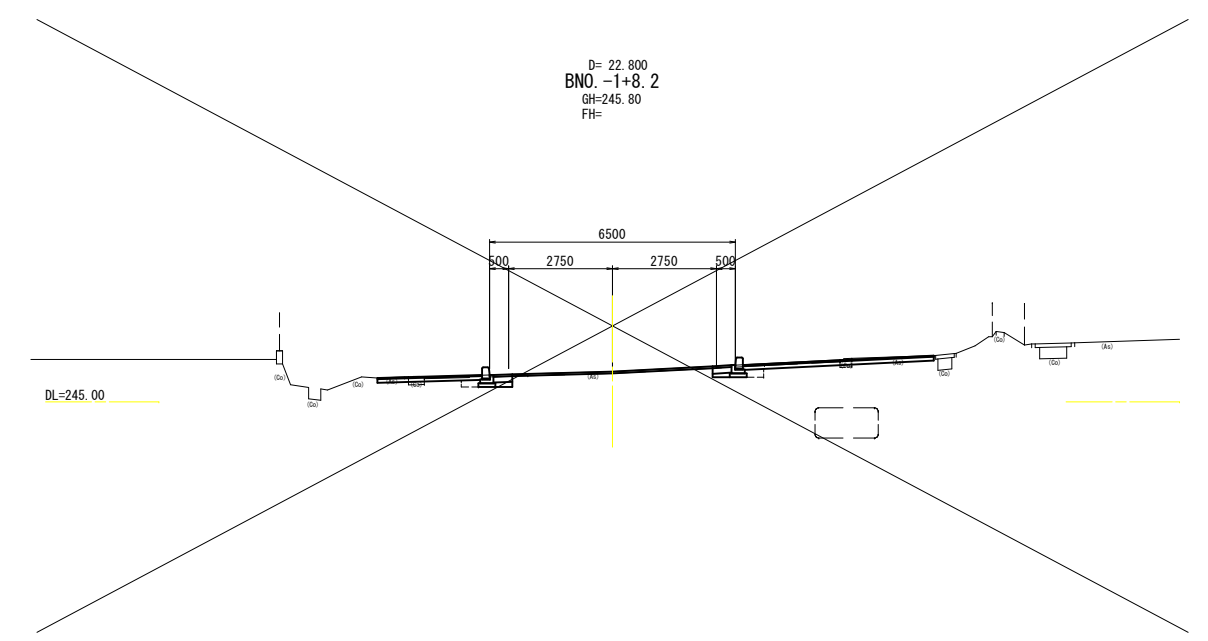
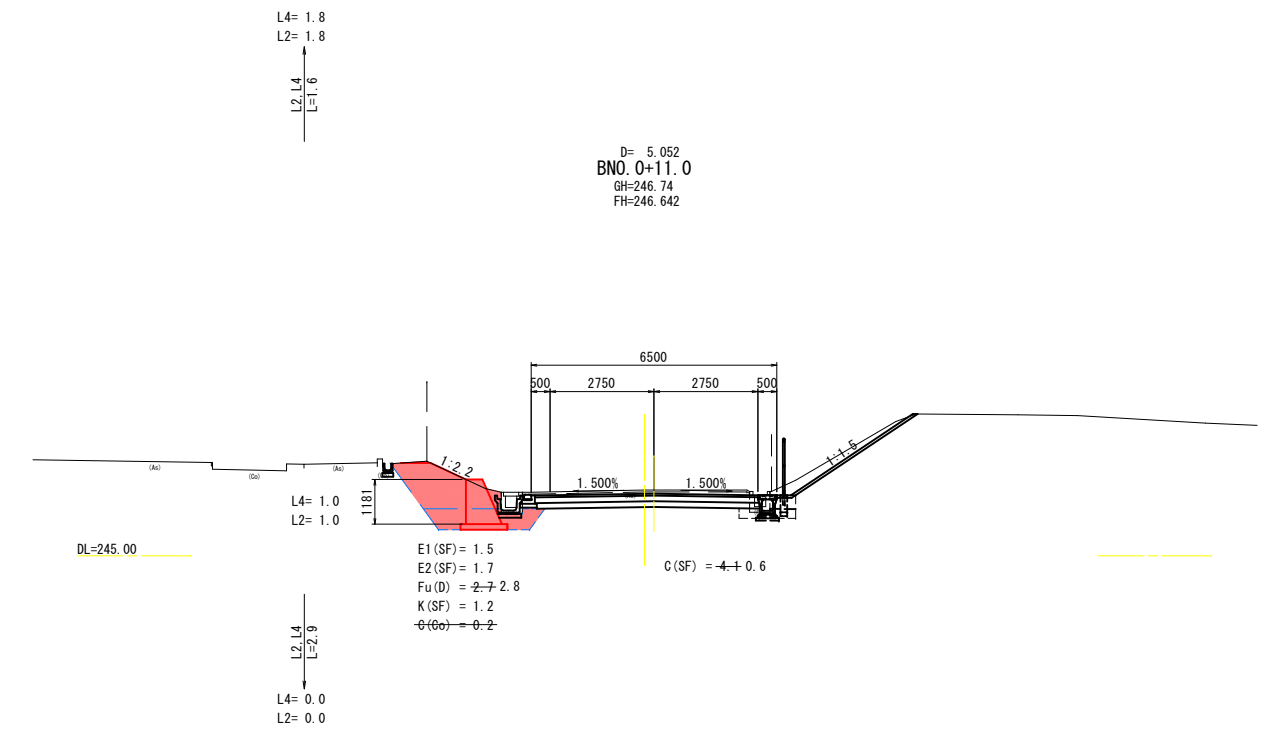
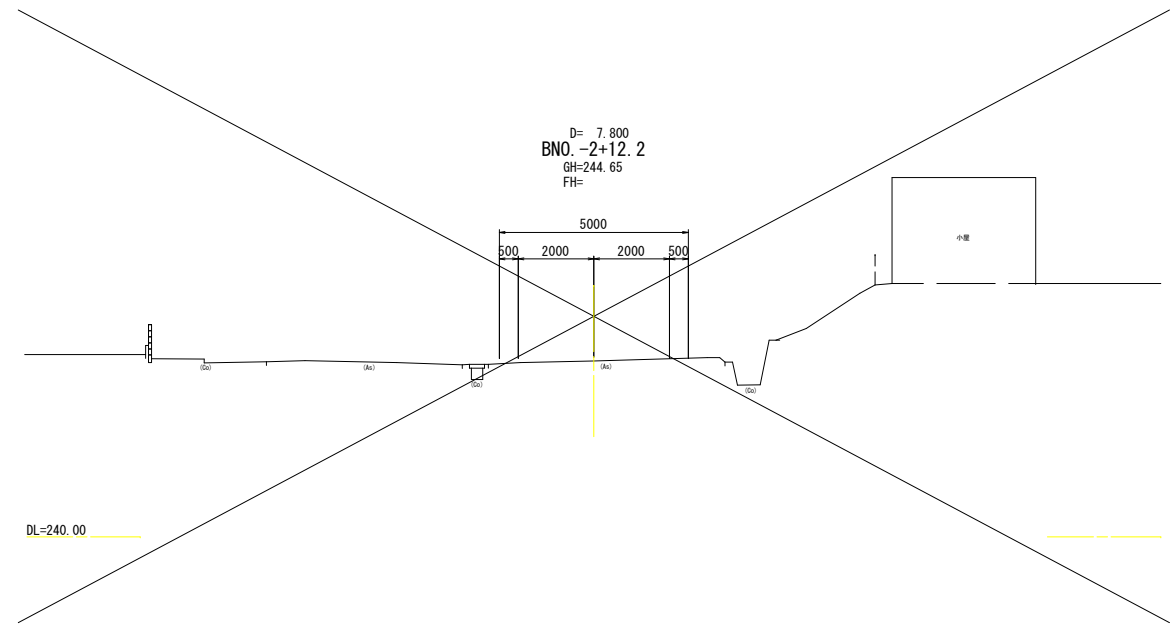
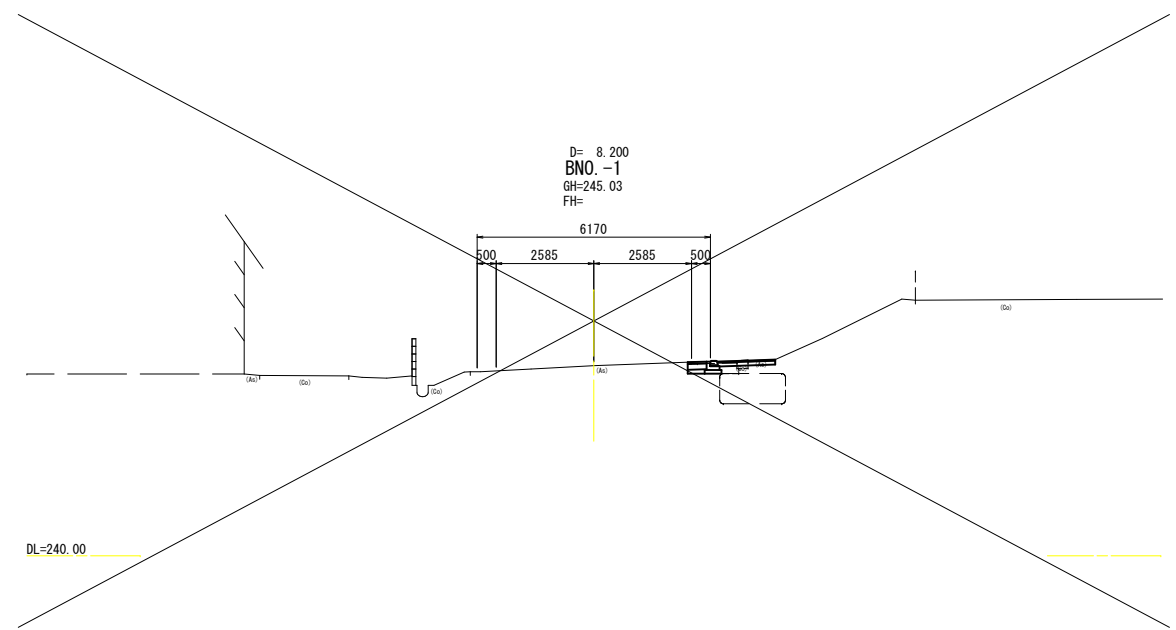


P102-B300-H300
L=20.0

ANO. 2 ~ ANO. 5			
図面番号	5 / 12	縮 尺	1 : 100
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	横断図（A路線）	番 号	2 / 4
路線 河川 名	飯田工業団地線（2工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			



ANO. 6 ~ ANO. 7			
図面番号	6 / 12	縮 尺	1 : 100
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	横断図 (A路線)	番号	3 / 4
路線 河川 名	飯田工業団地線 (2工区)		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

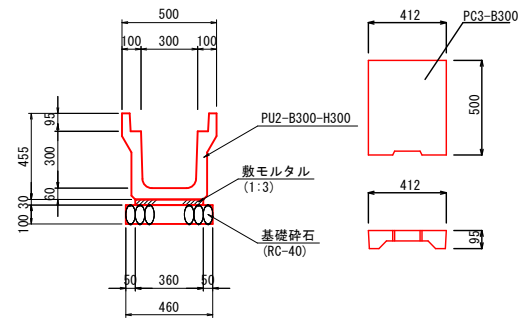


BNO. 0+11.0			
図面番号	7 / 12	縮 尺	1 : 100
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	横断図 (B路線)	番号	4 / 4
路線 河川 名	飯田工業団地線 (2工区)		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

構 造 図 (2)

PU2-B300-H300

S=1:20

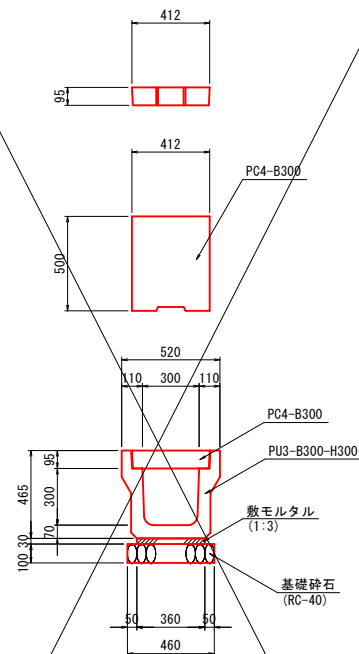


標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	4.600 m ²
		0.460 m ³
敷モルタル	1:3	0.108 m ³
目地モルタル		0.002 m ³
落ちふた式U形側溝 1種	300A L=2000	5 本
コンクリート蓋	300用 L= 500	18 枚
グレーチング蓋	300用 L=1000	1 枚

※10mに1枚の場合

PU3-B300-H300

S=1:20

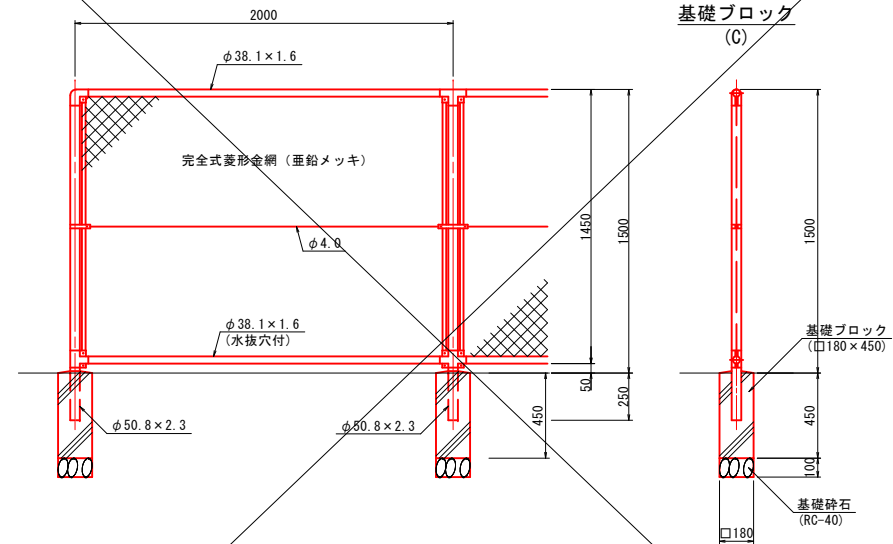


標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	4.600 m ²
		0.460 m ³
敷モルタル	1:3	0.108 m ³
目地モルタル		0.002 m ³
落ちふた式U形側溝 3種	300A L=2000	5 本
コンクリート蓋	300用 L= 500	18 枚
グレーチング蓋	300用 L=1000	1 枚

※10mに1枚の場合

PCフェンス (H=1500)

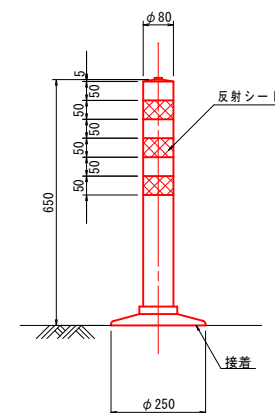
S=1:20



標準材料表		10m当り
名 称	規 格	数 量
基礎砕石	RC-40	0.162 m ²
		0.016 m ³
基礎ブロック	□180×450	5 個
ネットフェンス	H=1500	10.0 m

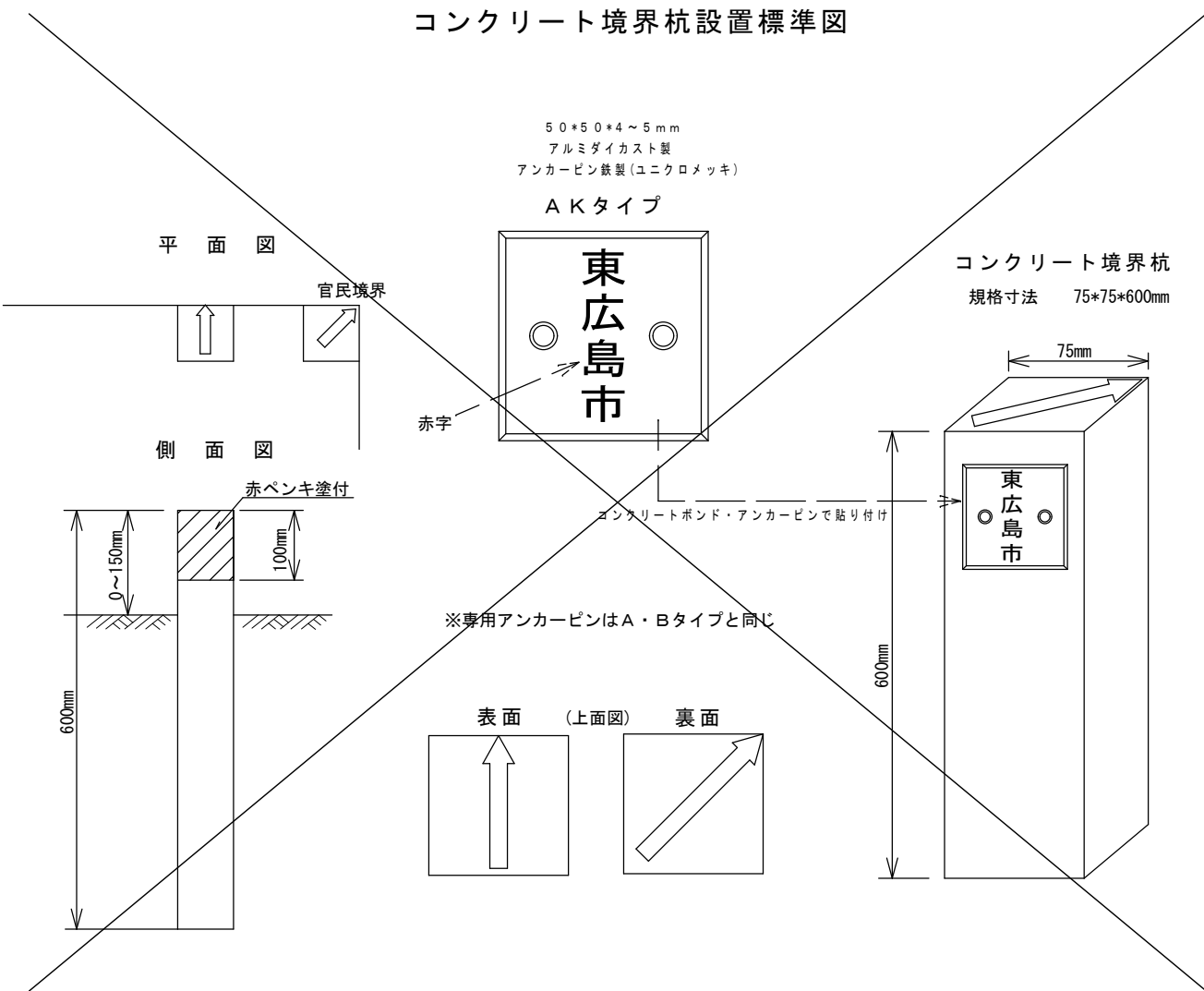
ポストコーン

S=1:10

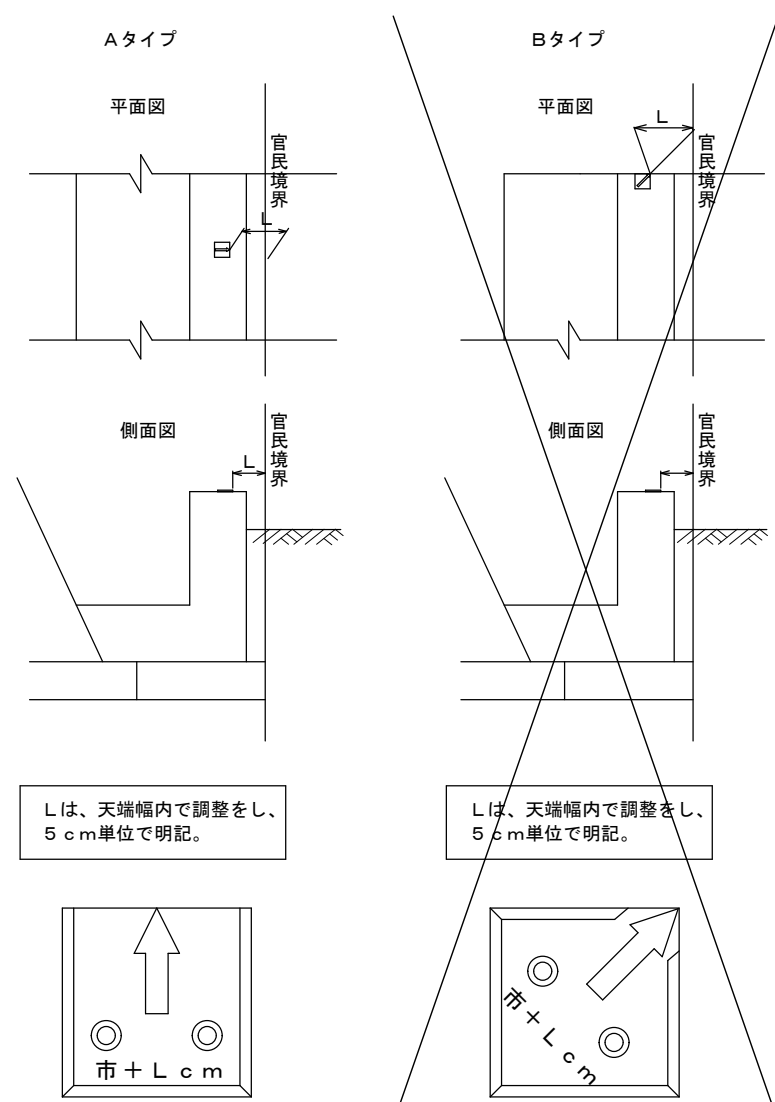


図面番号	8 / 12	縮 尺	図 示
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	構造図	番 号	1 / 2
路線 河川 名	飯田工業団地線（2工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

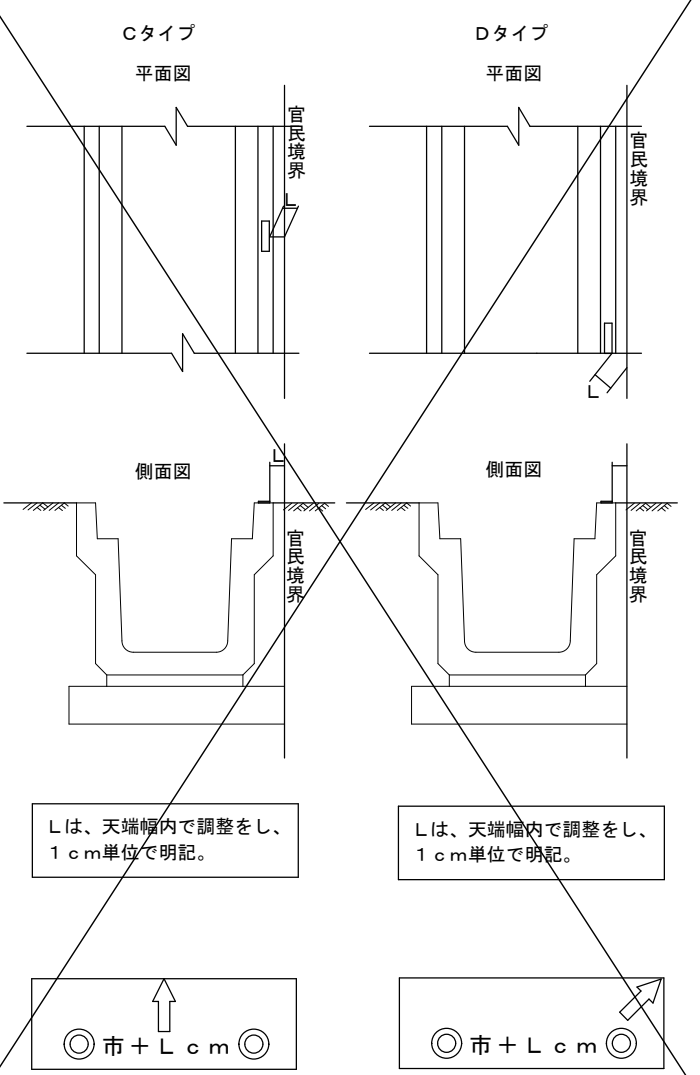
コンクリート境界杭設置標準図



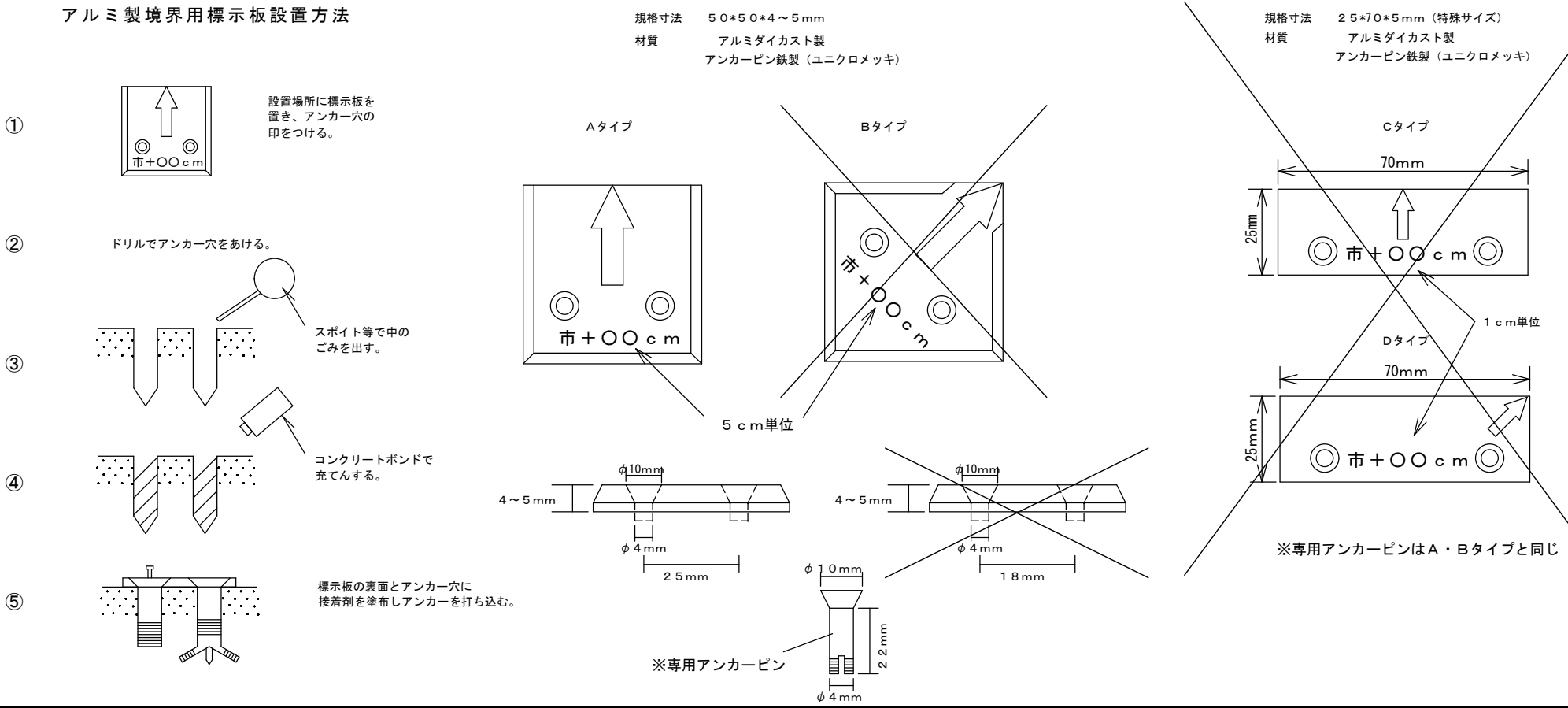
アルミ製境界用表示板（現場打用）標準図



アルミ製境界用表示板（プレキャスト用）標準図



アルミ製境界用標示板設置方法

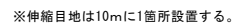


図面番号	9 / 12	縮 尺	_____
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	用地境界標一般図	番号	1 / 1
路線 河川 名	飯田工業団地線（２工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

V=1:100
H=1:200

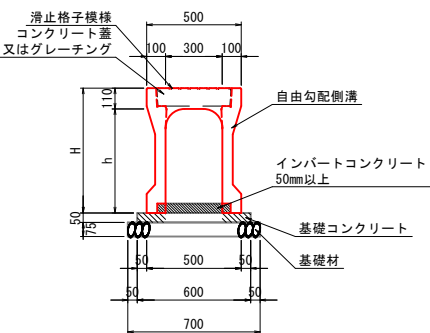


S=1:20



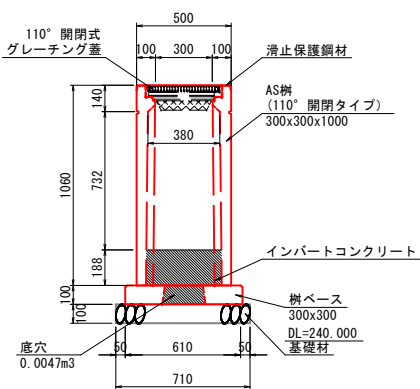
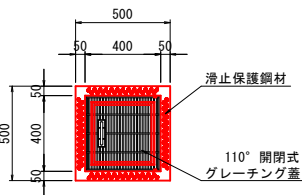
図面番号	10 / 12	縮 尺	図 示
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	擁壁展開図	番号	1 / 1
路線 河川名	飯田工業団地線（2工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

自由勾配側溝 S=1:20

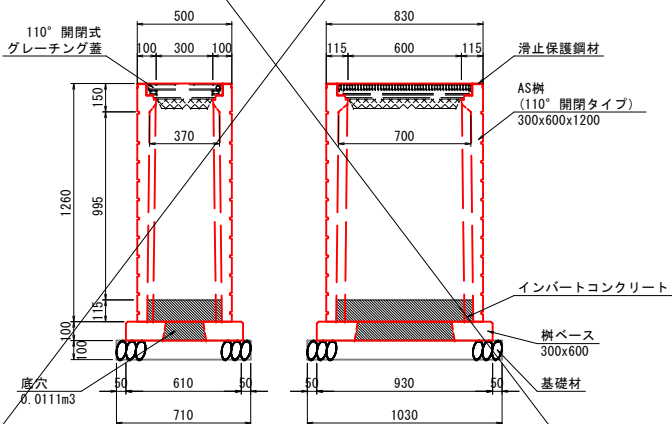
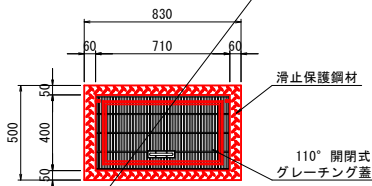


規格	h	H
300x300	350	460
300x400	450	560
300x500	550	660
300x600	650	760
300x700	750	860

AS樹 300x300x1000 S=1:20

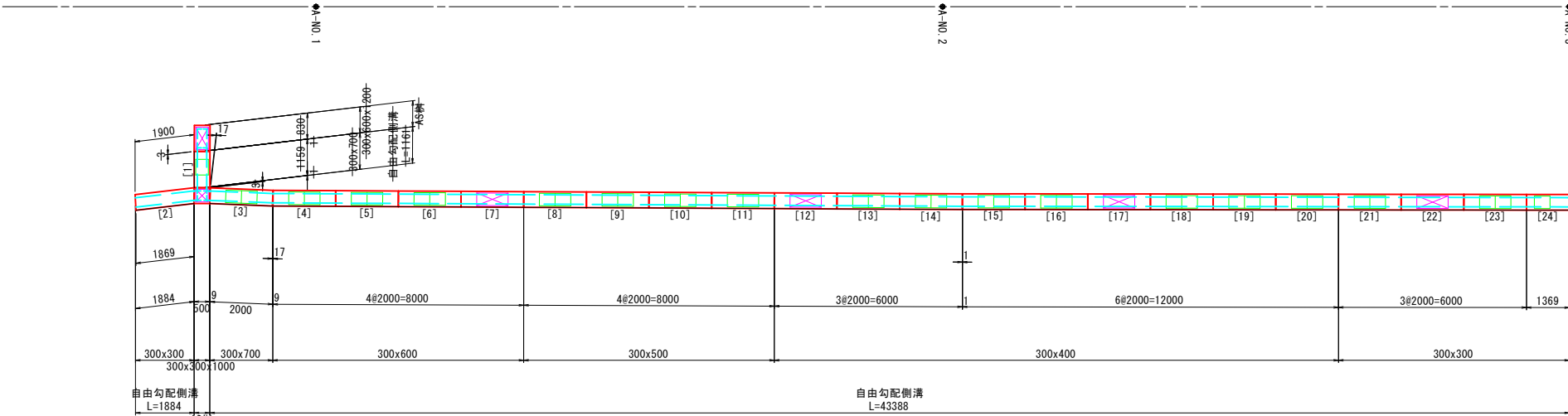


AS樹 300x600x1200 S=1:20

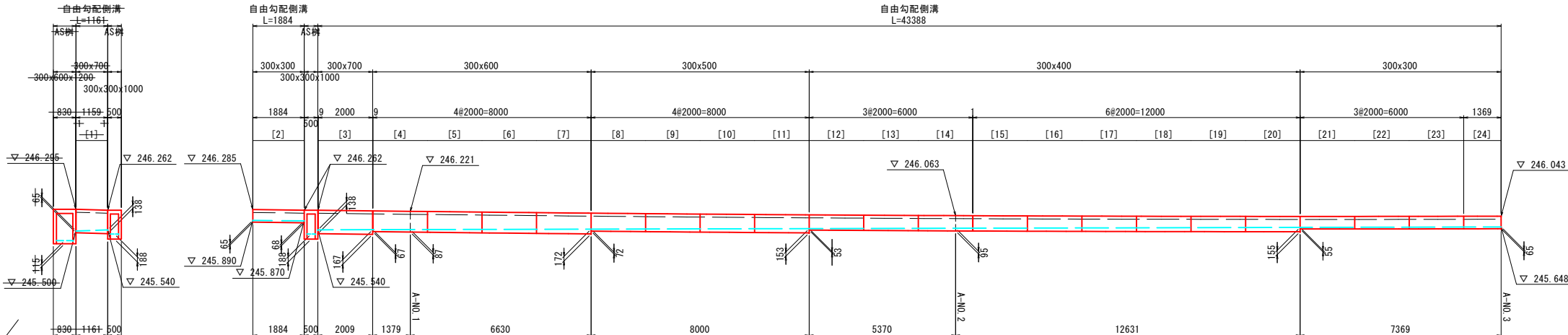


自由勾配側溝割付参考図 (1) (A路線)

平面図 S=1:100



縦断面図 S=1:100



数量表 (A路線)

名称	規格	長さ	数量	参考重量	備考	番号
自由勾配側溝	300x300	2000	3	435kg		21-23
		1900/1869	1	592kg	暗渠2m・両斜切	2
		1369	1	378kg	調整用・短切	24
	300x400	2000	9	497kg		12-20
	300x500	2000	4	550kg		8-11
	300x600	2000	4	692kg		4-7
	300x700	2000	1	765kg		3
		1159	1	539kg	調整用・短切	1
コンクリート蓋	300用	500	3635	44kg		1
グレーチング蓋	300用	1000	4	37.1kg	細目	2

材料表 (A路線)

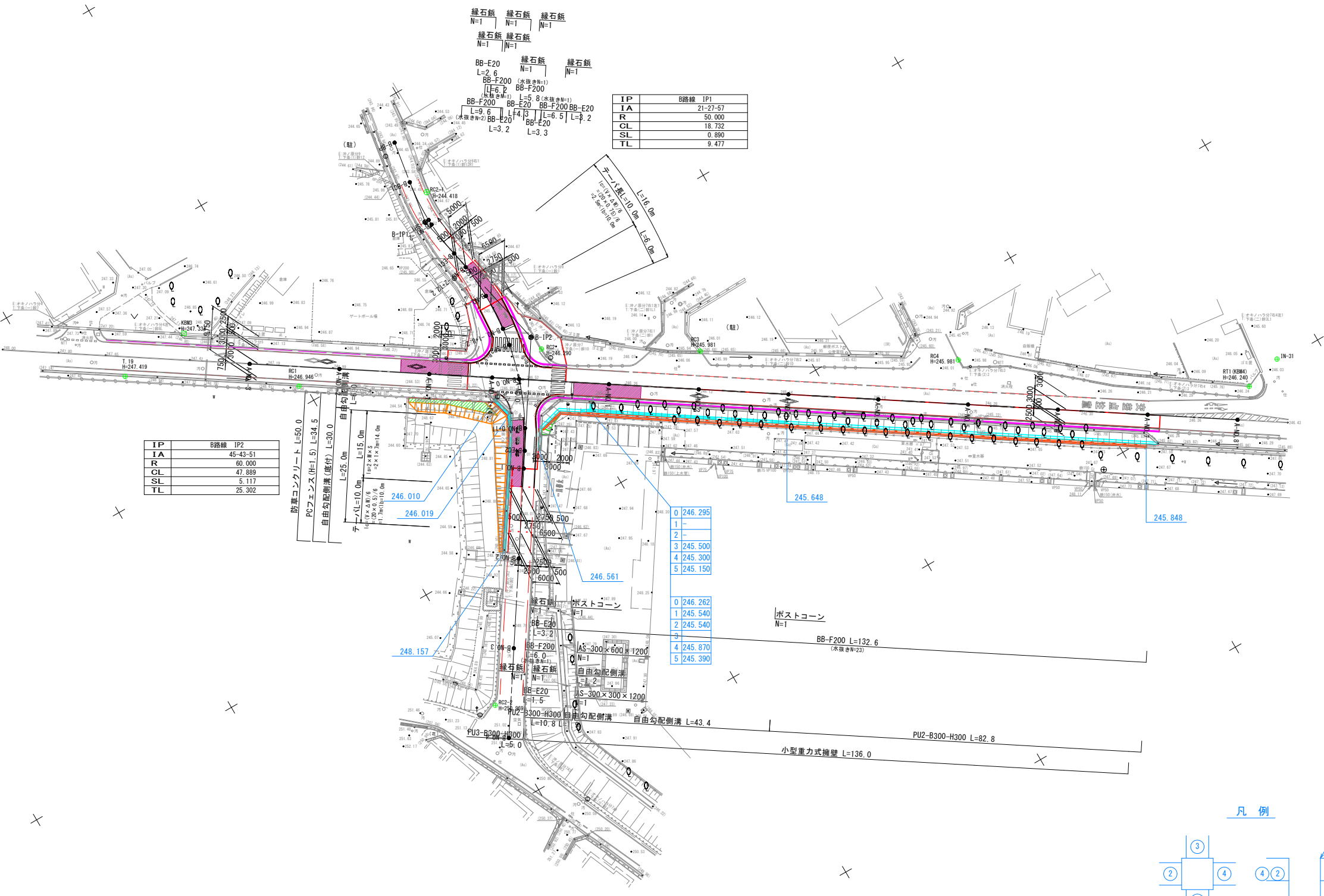
名称	規格	自由勾配側溝	AS樹
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	1.418 $\pm$ 0.454 m3	0.032 $\pm$ 0.079 m3
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	1.358 $\pm$ 0.999 m3	-
基礎コンクリート型枠	均し	4.527 $\pm$ 0.643 m2	-
基礎砕石	RC-40	31.690 $\pm$ 2.509 m2	0.504 $\pm$ 0.236 m2
	t=75mm	2.377 $\pm$ 0.438 m3	-
	t=100mm	-	0.050 $\pm$ 0.129 m3

図面番号	11 / 12	縮 尺	図 示
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	自由勾配側溝割付参考図 (A路線)	番号	1 / 1
路線 河川 名	飯田工業団地線（２工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

排水系統図

S=1:500

S=1:500



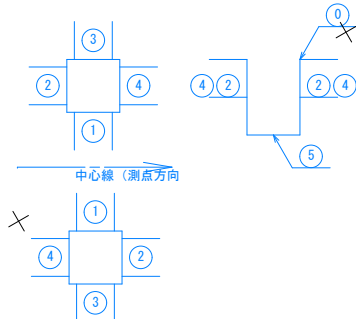
IP	B路線 IP2
IA	45.43-51
R	60.000
CL	47.889
SL	5.117
TL	25.302

IP	B路線 IP1
IA	21-27-57
R	50.000
CL	18.732
SL	0.890
TL	9.477

0	246.295
1	-
2	-
3	245.500
4	245.300
5	245.150

0	246.262
1	245.540
2	245.540
3	-
4	245.870
5	245.390

凡 例



図面番号	12 / 12	縮 尺	1 : 500
工 種	幹線市道整備事業		
種 別	排水系統図	番 号	1 / 1
路線 河川 名	飯田工業団地線（２工区）		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、四丁目		
東 広 島 市			

参 考 図 書

工事名称：令和7年度 幹線市道整備事業
飯田工業団地線(2 工区)道路改良工事

＜注意事項＞

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時た い積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先としては次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離（km）
残土	カワモトリサイクルセンター	東広島市志和町内字塚土山 10001	9.2km

・当該工事により発生する建設資材廃棄物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先としては、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離（km）
Co 殻（無筋）	（株）スナダ	東広島市志和町七条柗坂 10488-160	7.3km
根株	（有）クリーンリサイクル	東広島市黒瀬町宗近柳国 649	15.1km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101 レベル3
掘削 土砂 片切掘削	1	式			Y1E01010101 レベル4
掘削 土砂 片切掘削	300	m3			SPK25040001 00
掘削 土砂 片切掘削	300	m3			単第0 -0001 表
法面整形工					Y1E010107 レベル3
法面整形(盛土部)	1	式			Y1E01010702 レベル4
盛土部 法面締固め無し 現場制約無し	4	m2			SPK25040025 00
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	4	m2			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処理工					Y1E010110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 砂質土					Y1E01011002レベル4
	370	m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)					SPK25040002 00
	370	m3			単第0 -0003 表
残土等処分 砂質土					Y1E01011003レベル4
	370	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土 カワモトリサイクルセンター					F0000000001 00
	370	m3			
法面工					Y1E0104 レベル2
	1	式			
植生工					Y1E010401 レベル3
	1	式			
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付					Y1E01040111レベル4
	4	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人工張芝 張芝 幅100cm ワラ付	4	m2			SPK25040033 00 単第0 -0004 表
擁壁工	1	式			Y1E0106 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010601 レベル3
床掘り(掘削) 土砂	280	m3			Y1E01060101 レベル4
掘削 土砂 片切掘削	280	m3			SPK25040001 00 単第0 -0001 表
床掘り 土砂	280	m3			Y1E01060102 レベル4
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	280	m3			SPK25040015 00 単第0 -0005 表
埋戻し 土砂	430	m3			Y1E01060103 レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	430	m3			SPK25040020 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正	160	m2			Y1E01060104 レベル4
基面整正	160	m2			SPK25040017 00 単第0 -0007 表
場所打擁壁工(構造物単位)	1	式			Y1E010605 レベル3
小型重力式擁壁	184	m3			Y1E01060502 レベル4
重力式擁壁 擁壁平均高さ2m以上5m以下 基礎砕石有り 均しCo無し	184	m3			SPK25040071 00 単第0 -0008 表
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種 300A[300×300×2000]	92	m			Y1E01090301 レベル4
U型側溝 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種 300A[300×300×2000]	92	m			SDT00013 00 単第0 -0009 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 B300×H300～700	45	m			Y1E01090304 レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000 重量	45	m			SDT00015 00 単第0 -0010 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	1	m3			TTPCD0010 00
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*300*2000 参考質量322kg	3	本			T2160045 00
自由勾配側溝 300×300×1900/1869 暗渠2m・両斜切	1	本			F0000000007 00
自由勾配側溝 300×300×1369 調整用・短切	1	本			F0000000008 00
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*400*2000 参考質量399kg	9	本			T2160047 00
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*500*2000 参考質量450kg	4	本			T2160049 00
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*600*2000 参考質量558kg	4	本			T2160051 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*700*2000 参考質量618kg	1	本			T2160053 00
側溝蓋 自由勾配側溝B300用コンクリート蓋 300[400×95×500]	35	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 自由勾配側溝ふた 300[400×95×500]	35	枚			SDT00017 00 単第0 -0011 表
側溝蓋 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種ふた 300[412×95×500]	16	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)1種ふた 300[412×95×500]	16	枚			SDT00017 00 単第0 -0012 表
側溝蓋 自由勾配側溝B300用グレーチング蓋 300用×1000 細目 T-2	4	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 蓋版(各種) 40 重量	4	枚			SDT00017 00 単第0 -0013 表
側溝蓋 鋼製グレーチング- ノンスリップかさ上げ JIS,T-2,細目,みぞ幅300[997×410]	1	枚			Y1E01090305レベル4
蓋版 鋼製グレーチング- ノンスリップかさ上げ JIS,T-2,細目,みぞ幅300[997×410]	1	枚			SDT00017 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
集水桝・マンホール工	1	式			Y1E010905 レベル3
プレキャスト集水桝 300×300×1000 グレーチング 細目110° 開閉	1	箇所			Y1E01090504 レベル4
プレキャスト集水桝 据付 基礎砕石有り 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下	1	基			SPK25040096 00 単第0 -0015 表
プレキャスト集水桝 300×300×1000	1	基			F0000000017 00
集水桝用ベース 300×300用	1	基			F0000000021 00
グレーチング蓋(プレキャスト集水桝用) 300×300用 細目 110° 開閉	1	枚			F0000000018 00
インバートコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.03	m3			SPK25040157 00 単第0 -0016 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂	0.8	m3			Y1E01090103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	0.8	m3			SPK25040020 00 単第0 -0017 表
道路付属物撤去工	1	式			Y1E011203 レベル3
視線誘導標撤去 コンクリート建込	2	本			Y1E01120301レベル4
視線誘導標(Co建込用)(穿孔含まない) 撤去 [規]10本未満	2	本			SS000081 00 単第0 -0018 表
立入防止柵撤去工	1	式			Y3999 レベル3
立入防止柵撤去(仮置き) H=2.2m(忍び返し付) 支柱間隔2m 基礎ブロック 250×250×450mm	137	m			Y4999 レベル4
基礎ブロック撤去 250×250×450mm	82	個			V0000000043 00 単第0 -0019 表
金網・支柱(立入防止柵)撤去 H=2.2m(忍び返し付) 支柱間隔2m	137	m			V0000000044 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 無筋 機械施工	0.6	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.6	m3			SDT00031 00 単第0 -0023 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 Co(無筋)殻	0.6	m3			Y1E01121601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.6	m3			SPK25040155 00 単第0 -0024 表
殻処分 Co(無筋)殻	1	t			Y1E01121602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 無筋 (株)スナダ	1	t			F0000000003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010901 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1E01090102 レベル4
	1	m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 土留方式無し 障害無し					SPK25040015 00
	1	m3			単第0 -0025 表
埋戻し 土砂					Y1E01090103 レベル4
	1	m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK25040020 00
	1	m3			単第0 -0006 表
管渠工					Y1E011508 レベル3
	1	式			
暗渠排水管 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm					Y1E01150803 レベル4
	1	m			
暗渠排水管 据付 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm					SPK25040093 00
	1	m			単第0 -0026 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
	94	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	94	人			
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
張りコンクリート工					Y3999 レベル3
	1	式			
張りコンクリート t = 10 c m					Y4999 レベル4
	17	m2			
張りコンクリート t = 10 c m					V000000013 00
	17	m2			単第0 -0027 表
道路付属施設工					Y1E0212 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
境界工					Y1E021201 レベル3
	1	式			
境界鋳 50×50×4mm 2つ穴					Y1E02120102レベル4
	9	枚			
境界鋳 設置 [規]10枚未満					SS000097 00
	9	枚			単第0 -0029 表
境界プレートAタイプ(上矢印) アルミ製 50×50×4mm 2つ穴 市+○ ○cm					F0000000602 00
	9	枚			
道路付属物工					Y1E021202 レベル3
	1	式			
車線分離標 高さ_650mm 貼付式					Y1E02120204レベル4
	1	本			
車線分離標(固定式)(貼付式) 設置 高さ_650mm [規]10本未満					SS000095 00
	1	本			単第0 -0030 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
準備費					Z0005

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					YZZ05 レベル2
	1	式			
準備費					YZZ05001 レベル3
	1	式			
木根等処分費					YZZ05001001 レベル4
	1	式			
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業有り DID区間有り 運搬距離15.5km以下(13.5km超)					SPK25040189 00
	14	m3			単第0 -0031 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
根株処分費 (有)クリーンリサイクル					F0000000800 00
	14	m3			
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
原位置試験 簡易支持力測定	2	回			Y4999 レベル4
簡易支持力測定 簡易支持力測定（キャスポル） 報告書作成費含む	2	回			F0000000701 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費					
計算情報.....					
対象額.....					当初請対額
率.....					当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

頁0 -0017

掘削
土砂 片切掘削
機械構成比：9.34% 労務構成比：85.54% 材料構成比：5.12% 市場単価構成比：0.00% 単第0 -0001 表

1
標準単価：m3 当り
1,311.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	9.34%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	75.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	10.02%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

施工単価表

頁0 -0018

法面整形 SPK25040025 単第0 -0002 表
 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土
 機械構成比: 11.87% 労務構成比: 75.95% 材料構成比: 12.18% 市場単価構成比: 0.00% 1 m2 当り
 標準単価: 453.58000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.87%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.18%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0019

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002

DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)

単第0 -0003 表

1

標準単価:

m3 当り

1,808.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=32 距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

人工張芝
張芝 幅100cm ワラ付
機械構成比：0.00%

SPK25040033

単第0 -0004 表

1
標準単価：761.95000

m2 当り

労務構成比：63.35%

材料構成比：36.65%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	45.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
張芝 幅100cm, ワラ付	36.65%		張芝 幅100cm ワラ付		TTPC00274 TTPT00274
積算単価			積算単価		EP001
A=1 張芝 幅100cm ワラ付					

施工単価表

床掘り
土砂 標準
機械構成比: 22.47% 労務構成比: 53.87% 材料構成比: 23.66% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 244.12000

SPK25040015
土留方式無し 障害無し

単第0 -0005 表
1
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	22.47%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	53.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0022

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0006 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1 m3 当り

機械構成比: 9.29% 労務構成比: 82.13% 材料構成比: 8.58% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,025.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.09%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0023

埋戻し

SPK25040020

單第0 -0006 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.29%

勞務構成比: 82.13%

82.13%

材料構成比: 8.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

2,025.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

基面整正

SPK25040017

單第0 -0007 表

1

m2 当り

機械構成比:	0.00%	労務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	508.00000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

重力式擁壁

SPK25040071

単第0 -0008 表

擁壁平均高さ2m以上5m以下

基礎砕石有り 均しCo無し

1

m3 当り

機械構成比: 6.31%

労務構成比:

61.09%

材料構成比:

32.60%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

64,541.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	4.33%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	13.53%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	12.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	2.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	31.82%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.54%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0026

重力式擁壁

SPK25040071

单第0 -0008 表

擁壁平均高さ2m以上5m以下

基礎碎石有り 均しCo無し

1

m3 当り

機械構成比: 6.31%

勞務構成比：

61.09%

材料構成比: 32.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

64,541.00000

[illegible]

施工単価表

自由勾配側溝
材料別途 1000 重量

SDT00015

単第0 -0010 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャー 40～0mm	0.063	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.032	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=1 1000 重量 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.525 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.3 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=1 -		

施工単価表

頁0 -0029

蓋版

SDT00017

單第0 -0011 表

自由勾配側溝ふた

$$300[400 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

蓋版

SDT00017

單第0 -0012 表

落ちふた式U形側溝(JIS A 5372)1種ふた

$$300[412 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

蓋版
蓋版(各種) 40 重量

SDT00017

單第0 -0013 表

1枚当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

蓋版

SDT00017

單第0 -0014 表

鋼製グレーチング-ノンスリップかさ上げ

JIS,T-2,細目,みぞ幅300[997×410]

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

プレキャスト集水桝

SPK25040096

単第0 -0015 表

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 12.16%

労務構成比:

84.54%

材料構成比:

3.30%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,206.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.81%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	37.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0034

プレキャスト集水桝

SPK25040096

单第0 -0015 表

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

1

基 当り

機械構成比: 12.16%

勞務構成比：

84.54%

材料構成比: 3.30%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,206.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

インバートコンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

SPK25040157

単第0 -0016 表

バックホウ(クレーン機能付)打設

1 m3 当り
標準単価: 36,531.00000

機械構成比: 3.50% 労務構成比: 34.96% 材料構成比: 61.54% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0036

インバートコンクリート

SPK25040157

单第0 -0016 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

勞務構成比：

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0017 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 8.95% 労務構成比: 87.50% 材料構成比: 3.55% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 3,339.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3	8.37%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・排2014 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00159 MTPT00159
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	53.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	25.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.82%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0038

埋戻し

SPK25040020

單第0 -0017 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 8.95%

勞務構成比: 87.50%

材料構成比: 3.55%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,339.70000[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

視線誘導標(Co建込用)(穿孔含まない)

SS000081

單第0 -0018 表

本 当り

撤去

[規]10本未滿

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

基礎ブロック撤去

V0000000043

單第0 -0019 表

1 個 当り

250 × 250 × 450mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

基礎ブロック,鋼管基礎
基礎ブロック 金網柵
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 80.48% 材料構成比: 19.52% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040254
基礎砕石無し

単第0 -0020 表
1
標準単価:
基 当り
4,148.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	72.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
フェンス用基礎ブロック 200×200×450mm 参考質量31kg	19.52%		基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)		TTPC00366 TTPT00366
積算単価			積算単価		EP001
A=1 基礎ブロック D=1 基礎砕石無し			B=1 金網柵 E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0042

金網・支柱(立入防止柵)撤去
H=2.2m(忍び返し付) 支柱間隔2m

V0000000044

單第0 -0021 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

基礎ブロック

機械構成比:0.00%

労務構成比:100.00%

材料構成比:0.00%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:3,487.90000

SPK25040255

支柱間隔2m

単第0 -0022 表

1m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1 基礎ブロック -(全ての費用)			C=2 支柱間隔2m		

施工単価表

頁0 -0044

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0023 表

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0024 表
1
標準単価: 1,737.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

床掘り
土砂 平均施工幅1m以上2m未満
機械構成比: 19.72% 労務構成比: 66.35% 材料構成比: 13.93% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040015
土留方式無し 障害無し

単第0 -0025 表

1
標準単価: 290.57000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	19.72%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	66.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		

施工単価表

暗渠排水管

据付 直管 200 ~ 400mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK25040093

硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm

16.42%

材料構成比: 83.58%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0026 表

1
標準単価:

m 当り
5,064.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	11.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
薄肉管(VU)(JISK6741)PE 呼び径300(318×9.2)	83.58%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0407 TTPT00189
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=68 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径300mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0048

張りコンクリート

V000000013

單第0 -0027 表

10

m2

当り

t = 10 c m

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0028 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0050

境界鉾
設置 [規]10枚未滿

SS000097

單第0 -0029 表

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

車線分離標(固定式)(貼付式)
設置 高さ 650mm [規]10本未満

SS000095

單第0 -0030 表

本 当り

[illegible]

施工単価表

運搬(伐木除根)

機械施工 除根作業有り DID区間有り

機械構成比: 58.43%

労務構成比: 30.16%

材料構成比: 11.41%

市場単価構成比: 0.00%

SPK25040189

運搬距離15.5km以下(13.5km超)

単第0 -0031 表

1

m3

当り

標準単価:

2,261.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	58.43%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
運転手(一般)	30.16%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=39 運搬距離15.5km以下(13.5km超)		

本 工 事 費 内 訳 書

(飯田工業団地線 2工区)

本 工 事（ 付 帯 工 事 ） 費 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 目	規 格	単位	数 量	摘 要
本工事費	(飯田工業団地線2工区)						
	道路土工				式	1	
		掘削工			式	1	
			掘 削	砂質土 片切	m3	300	
		法面整形工			式	1	
			盛土法面整形	砂質土	m2	4	
		残土処理工			式	1	
			土砂等運搬	砂質土	m3	370	
			残土処等処分	砂質土	m3	370	
	法面工				式	1	
		植生工			式	1	
			張芝	わら芝	m2	4	
	擁壁工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床 掘	砂質土	m3	280	
			床掘(掘削)	砂質土	m3	280	
			埋 戻	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	430	
			基面整正	砂質土	m2	160	
		場所打擁壁工	(小型重力式擁壁)		式	1	
			コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	184	
			型 枠	無筋構造物	m2	600	
			基礎碎石	RC-40, t=20cm	m2	156	
			吸出防止材	300×300	枚	30	
			水抜パイプ	Vuφ150	m	21	
			目地材	瀝青材 t=10mm	m2	18	
	排水構造物工				式	1	
		側溝工			式	1	
			プレキャストU 型側溝	PU2-B300-H300	m	92	
			自由勾配側溝	B300×H300～700	m	45	
			基礎碎石	RC-40 t=75	m2	32	
			基礎コンク リート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	1	

費 目	工 種	種 別	細 目	規 格	単位	数 量	摘 要
			同上型枠	均し	m2	5	
			インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	1	
			(自由勾配側溝)	300×300×2000	本	3	435kg/本
				300×300×1900/1869 暗渠2m・両斜切	本	1	592kg/本
				300×300×1369 調整用・短切	本	1	378kg/本
				300×400×2000	本	9	497kg/本
				300×500×2000	本	4	550kg/本
				300×600×2000	本	4	692kg/本
				300×700×2000	本	1	765kg/本
			コンクリート蓋	自由勾配 300用×500	枚	35	44kg/枚
				PU2 300用×500	枚	16	33kg/枚
			グレーチング蓋	自由勾配 T-2 細目 300用×1000	枚	4	37.1kg/枚
				PU2 T-2 細目 300用×1000	枚	1	31.1kg/枚
		集水樹工			式	1	
			プレキャスト集水樹	AS-300×300×1000 細目 110° 開閉	箇所	1	本体293kg 蓋14kg
	構造物撤去工				式	1	
		作業土工			式	1	
			埋 戻	最大埋戻幅1m未満	m3	1	
		道路付属物撤去工			式	1	
			視線誘導標撤去	コンクリート建込	基	2	
		立入防止柵撤去工			式	1	
			立入防止柵撤去(仮置き)	基礎ブロック 250×250×450	個	82	
				金網・支柱 H=2.2m 支柱間隔2m	m	137	
		構造物取壊し工			式	1	
			コンクリート取壊	無筋	m3	0.6	
		運搬処理工			式	1	
			殻運搬	C0殻(無筋)	m3	0.6	
			殻処分	C0殻(無筋)	t	1	
	舗装工				式	1	
		張りコンクリート工			式	1	
			張りコンクリート	コンクリート t=10cm	m2	17	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
	道路付属施設工				式	1	
		道路付属物工			式	1	

[illegible]

道 路 土 工

土工数量集計表

[illegible]

土 量 配 分

切土工

切 土	掘削工種	土 質	単位	発生土量
	オープン (C2)	土 砂	m ³	
		軟岩Ⅰ	m ³	
		軟岩Ⅱ	m ³	
		中硬岩	m ³	
	片 切 (C1)	土 砂	m ³	295.8
		軟岩Ⅰ	m ³	
		軟岩Ⅱ	m ³	
		中硬岩	m ³	
	合 計		m ³	295.8
		粘性土	m ³	

作業土工

床 掘	掘削工種	土 質	単位	発生土量
	機 械	土 砂	m ³	561.5
		軟岩Ⅰ	m ³	
		軟岩Ⅱ	m ³	
		中硬岩	m ³	
	合 計		m ³	561.5

注) 作業土工は、擁壁・構造物撤去工・仮設工の合計

土 質	単位	発生土量
土 砂	m ³	857.3
軟岩Ⅰ	m ³	
軟岩Ⅱ	m ³	
中硬岩	m ³	

$$= \frac{0.0}{0.0} \times 0.9$$

$$= \frac{485.1}{436.6} \times 0.9$$

盛土工

盛 土	種 別	細 別	単位	土 量
	路 床	4.0 ≤ W	m ³	
		2.5 ≤ W < 4.0	m ³	
		1.0 ≤ W < 2.5	m ³	
		W < 1.0	m ³	
	路 体	4.0 ≤ W	m ³	
		2.5 ≤ W < 4.0	m ³	
		1.0 ≤ W < 2.5	m ³	
		W < 1.0	m ³	
	合 計		m ³	0.0

作業土工

埋 戻	種 別	埋 戻 幅	単位	土 量
	A		m ³	
	B		m ³	
	C	最大埋戻幅1m以上4m未満	m ³	435.8
	D	最大埋戻幅1m未満	m ³	0.8
	合 計		m ³	436.6

注) 作業土工は、擁壁・構造物撤去工・仮設工の合計

残土処分	土 砂	857.3	-	0.0	-	485.1	372.2	m ³
	軟岩Ⅰ							m ³
	軟岩Ⅱ							m ³
	中硬岩							m ³
	粘性土							m ³

作業土工集計表

作業土工	床掘 (砂質土)	床掘(掘削) (砂質土)	埋戻C	埋戻D
擁壁工	283.0	277.4	434.7	
排水工				
縁石工				
構造物撤去工				0.8
仮設工	1.1		1.1	
合計	561.5		435.8	0.8

道路土工数量計算書

掘削工

NO.

[illegible]

道路土工数量計算書

法面整形工

NO.

[illegible]

法 面 工

法面工数量集計表

[illegible]

法面工数量計算書

法面工

NO.

[illegible]

擁

壁

工

擁壁工総括数量集計表

[illegible]

場所打擁壁工数量計算書

作業土工 小型重力式擁壁

NO. 1

測 点 名 称	区間距離	床掘（砂質土）			床掘(掘削)（砂質土）			埋戻（種別C）			備 考
		E1(SF)	平 均	立 積	E2(SF)	平 均	立 積	Fu(C)	平 均	立 積	
A路線右側											
BNO.0+11.0		1.5			1.7			2.8			
ANO.1	15.7	3.0	2.25	35.3	2.0	1.85	29.0	3.7	3.25	51.0	
	10.4	3.0	3.00	31.2	2.0	2.00	20.8	3.7	3.70	38.5	
		2.3			2.3			3.5			
ANO.2	9.6	2.3	2.30	22.1	2.3	2.30	22.1	3.5	3.50	33.6	
ANO.3	20.0	2.1	2.20	44.0	2.2	2.25	45.0	3.3	3.40	68.0	
ANO.4	20.0	1.8	1.95	39.0	1.9	2.05	41.0	2.9	3.10	62.0	
ANO.5	20.0	1.8	1.80	36.0	2.0	1.95	39.0	3.0	2.95	59.0	
ANO.6	20.0	1.8	1.80	36.0	2.0	2.00	40.0	3.0	3.00	60.0	
ANO.7	20.0	1.8	1.80	36.0	1.8	1.90	38.0	2.8	2.90	58.0	
	2.8	0.6	1.20	3.4		0.90	2.5	0.5	1.65	4.6	
合計	138.5			283.0			277.4			434.7	

場所打擁壁工数量計算書

作業土工 小型重力式擁壁

NO. 2

測点名称	区間距離	基面整正									備考
		K(SF)	平均	平積							
A路線右側											
BNO.0+11.0		1.2									
ANO.1	15.7	1.2	1.20	18.8							
	10.4	1.2	1.20	12.5							
		1.2									
ANO.2	9.6	1.2	1.20	11.5							
ANO.3	20.0	1.2	1.20	24.0							
ANO.4	20.0	1.1	1.15	23.0							
ANO.5	20.0	1.1	1.10	22.0							
ANO.6	20.0	1.1	1.10	22.0							
ANO.7	20.0	1.1	1.10	22.0							
合計	135.7			155.8							

場所打擁壁工数量計算書

土留擁壁

小型重力式擁壁

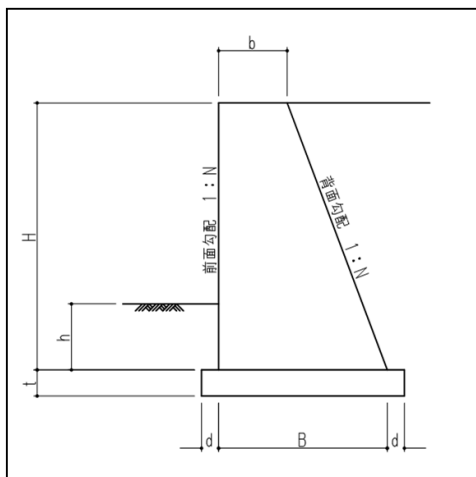
NO.

[illegible]

平均H

2. 16

V= 23.4



擁壁諸条件(土留擁壁)

天端幅b = 0.30

前面勾配 = 1:0.30 斜率 = 1.0440

背面勾配 = 1:0.00 斜率 = 1.0000

基礎突出 $d = 0.10$

基礎厚 $t = 0.15$

根入高 $h = 0.70$

吸出防止材 = 7 m²に1枚

目地材 = 10 mに1箇所

擁壁種別：土留擁壁

基礎材 : 基礎碎石

場所打擁壁工数量計算書

土留擁壁

小型重力式擁壁

NO.

測 点 名 称	区間距離	コンクリート			型 枠			備 考
		断 面 積	平 均	立 積	断 面 長	平 均	平 積	
		0.41			1.90			
	5.51	1.13	0.77	4.2	3.92	2.91	16.0	
	6.66	1.19	1.16	7.7	4.07	4.00	26.6	
		1.62			4.97			
NO. 1	3.86	1.60	1.61	6.2	4.95	4.96	19.1	
NO. 2	20.00	1.54	1.57	31.4	4.82	4.89	97.8	
NO. 3	20.00	1.48	1.51	30.2	4.70	4.76	95.2	
		1.41			4.54			
NO. 4	20.00	1.35	1.38	27.6	4.42	4.48	89.6	
NO. 5	20.00	1.30	1.33	26.6	4.31	4.37	87.4	
NO. 6	20.00	1.26	1.28	25.6	4.21	4.26	85.2	
NO. 7	20.00	1.21	1.24	24.8	4.11	4.16	83.2	
合 計	136.03			184.3			600.1	

平均H = 2.16 m

$$\text{吸出防止材} = ((2.16 - 0.70) \times 1.0440 \times 136.03) / 7 = 30.0 \text{ 枚}$$

水抜パイプ

$$1 \text{ 本延長} = 0.30 + 1.46 \times (0.30 + 0.00) = 0.7 \text{ m}$$
$$\text{延長} = 0.7 \times 30.0 = 21.0 \text{ m}$$

目地材

$$\text{箇所数} = 136.0 / 10.0 - 1 = 13.0 \text{ 箇所}$$

斷面積 = 1.348 m²

$$\text{目地面積} = 1.348 \times 13.0 = 17.5 \text{ m}^2$$

排水構造物工

排水構造物工数量集計表

種別・工種	細 別	規 格	単位	数 量		備 考
				実数値	積算値	
側溝工						
	プレキャストU型側溝	PU2-B300-H3000	m	91.7	92	
	自由勾配側溝	B300×H300～700	m	45.3	45	
	基礎碎石	RC-40 t=75	m ²	31.7	32	
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.4	1	
	同上型枠	均し	m ²	4.5	5	
	インパートコンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	1.4	1	
	(自由勾配側溝)	300×300×2000	本	3.0	3	435kg/本
		300×300×1900/1869 暗渠2m・両斜切	本	1.0	1	592kg/本
		300×300×1369 調整用・短切	本	1.0	1	378kg/本
		300×400×2000	本	9.0	9	497kg/本
		300×500×2000	本	4.0	4	550kg/本
		300×600×2000	本	4.0	4	692kg/本
		300×700×2000	本	1.0	1	765kg/本
	コンクリート蓋	自由勾配 300用×500	枚	35.0	35	44kg/枚
		PU2 300用×500	枚	16.0	16	33kg/枚
	グレーチング蓋	自由勾配 T-2 細目 300用×1000	枚	4.0	4	37.1kg/枚
		PU2 T-2 細目 300用×1000	枚	1.0	1	31.1kg/枚
集水枳工						
	プレキャスト集水枳	AS-300×300×1000	箇所	1.0	1	

A路線



排水構造物工数量計算書

側溝・集水枥工

NO. 1

測点名称	PU2- B300- H300	PU3- B300- H300	AS-300× 300× 1000	AS-300× 600× 1200					
ANO. -1									
ANO. -1+14.0									
ANO. 0									
ANO. 1-5.8	8.9		1.0						
ANO. 2									
ANO. 3									
ANO. 4	20.0								
ANO. 5	20.0								
ANO. 6	20.0								
ANO. 7	20.0								
	2.8								
BNO. -2+12.2									
BNO. -1									
BNO. -1+8.2									
BNO. 0+11.0									
BEC-2									
BNO. 1									
BNO. 2									
	m	m	箇所	箇所					
合計	91.7	0.0	1.0	0.0					

【自由勾配側溝 数量表】

数量表

名称	サイズ	規格	数量	単位	参考重量	備考
自由勾配側溝	300 × 300	L= 2000	3	本	435kg	
		L= 1900 /1869	1	本	592kg	暗渠2m・両斜切
		L= 1369	1	本	378kg	調整用・短切
	300 × 400	L= 2000	9	本	497kg	
	300 × 500	L= 2000	4	本	550kg	
	300 × 600	L= 2000	4	本	692kg	
	300 × 700	L= 2000	1	本	765kg	
		L=		本		
コンクリート蓋	B300	L= 500	35	枚	44kg	
グレーチング蓋	B300	L= 1000	4	枚	37.1kg	細目
インパートコンクリート	18N/mm2		1.418	m3		
基礎コンクリート	18N/mm2		1.358	m3		
同上型枠	均し		4.527	m2		
基礎碎石	t=75mm		31.690	m2		

A路線

Technical drawing showing a cross-section of a drainage structure. The structure consists of a base layer (基礎材) and a concrete base (基礎コンクリート). The base layer has a total width of 700mm and a thickness of 50mm. The concrete base has a total width of 600mm and a thickness of 50mm. The structure is supported by a concrete base (基礎コンクリート) and a base material (基礎材). The structure is labeled with dimensions: 500mm (width of the top opening), 100mm (width of the top flange), 300mm (width of the top flange), 100mm (width of the top flange), 110mm (height of the top flange), H (total height), h (height of the main body), 50mm (thickness of the base layer), 75mm (thickness of the concrete base), 50mm (width of the base layer), 500mm (width of the concrete base), 50mm (width of the base layer), 50mm (width of the base layer), 600mm (width of the concrete base), 700mm (width of the base layer). The structure is labeled with text: 滑止格子模様 (Slip-resistant grid pattern), コンクリート蓋 (Concrete cover), 又はグレーチング (Or grate), 自由勾配側溝 (Free slope side ditch), インパットコンクリート (Impact concrete), 50mm以上 (50mm or more), 基礎コンクリート (Foundation concrete), 基礎材 (Foundation material).

[illegible]

構 造 物 撤 去 工

構造物撤去工数量集計表

[illegible]

構造物撤去工数量計算書

作業土工

NO.

[illegible]

構造物撤去工 箇所調書

視線誘導標撤去

左 側			右 側		
測 点	箇 所	摘 要	測 点	箇 所	摘 要
			NO. 7 + 1. 6	2. 0	
左 側 計	基		右 側 計	2. 0 基	
			左 右 合 計	2. 0 基	

構造物撤去工 延長調書

左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
左 側 計	m		右 側 計	m	
			左 右 合 計	0. 0 m	

構造物撤去工 箇所調書

立入防止柵撤去（基礎ブロック）

左 側			右 側		
測 点	箇 所	摘 要	測 点	個	摘 要
			NO.0 + 7.3 ~ NO.7 + 1.2	82.0	
左 側 計	個		右 側 計	82.0 個	
		左 右 合 計		82.0 個	

構造物撤去工 延長調書

立入防止柵撤去（金網・支柱）

左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
			NO.0 + 7.3 ~ NO.7 + 1.2	136.7	
左 側 計	m		右 側 計	136.7 m	
		左 右 合 計		136.7 m	

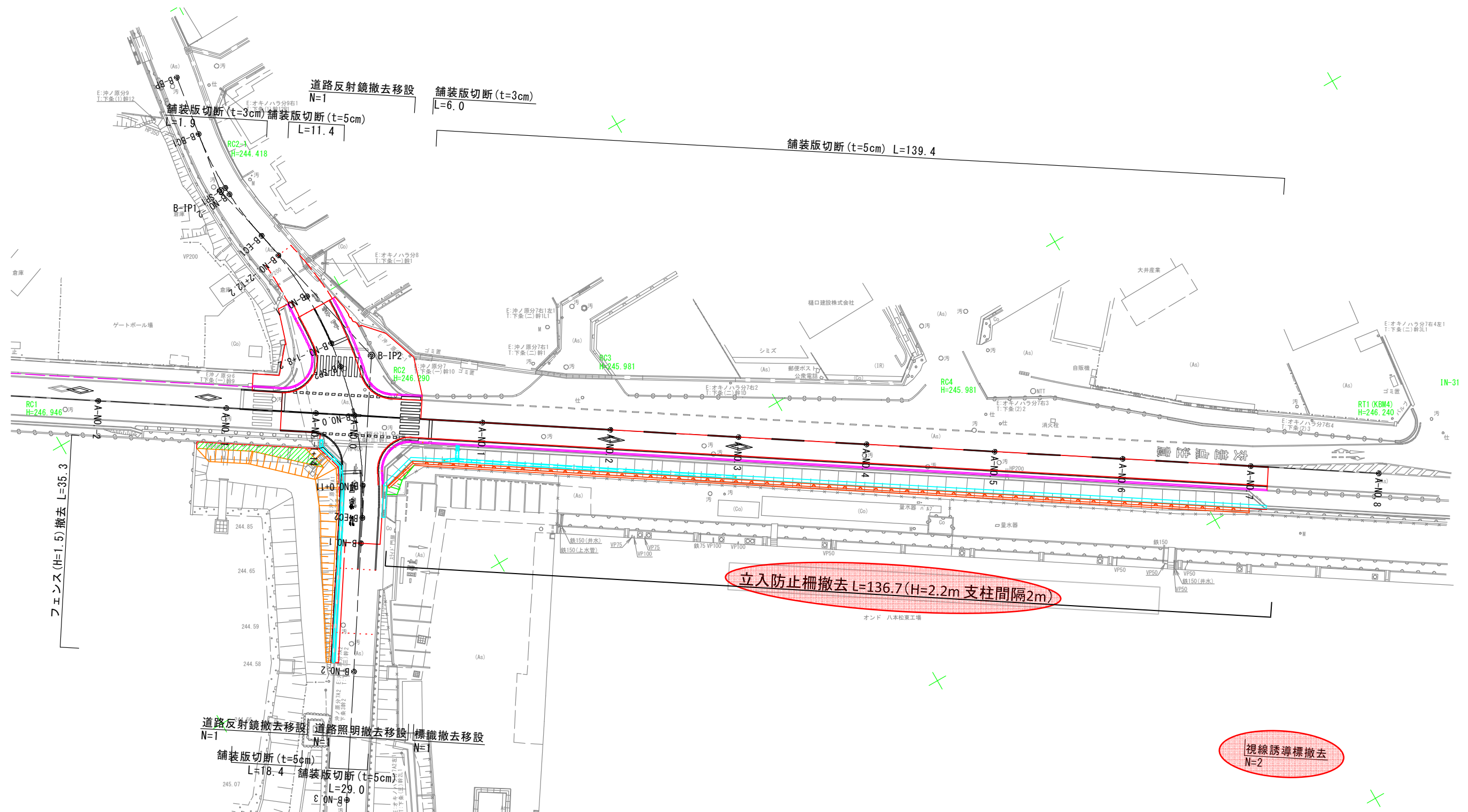
構造物撤去工数量計算書

コンクリート構造物取壊し（無筋）

NO. 1

測点名称	区間距離	コンクリート取壊し									備考
		C(Co)	平均	立積							
A路線 右側											
ANO.7		0.2									
	2.8	0.2	0.20	0.6							
合計	2.8			0.6			0.0			0.0	

構造物撤去工(数量根拠図)



舖

装

工

舗装工数量集計表

[illegible]

鋪装工数量計算書

歩道舗装, 張りコンクリート

NO.

[illegible]

舗装工数量計算書

NO.

[illegible]

道 路 付 属 施 設 工

道路付属施設工数量集計表

[illegible]

道路付属施設工数量計算書

NO. 1

[illegible]

工 設 仮

仮設工数量集計表

[illegible]

仮設工数量計算書

作業土工

NO.

[illegible]

工 備 準

準備工数量集計表

[illegible]

準備工 箇所調書

木根等処分

低木（樹高100cm程度）				高木（幹周50～150cm程度）			
測 点		箇 所	摘 要	測 点		箇 所	摘 要
NO. 1	～ NO. 7	37.0	0.1m3/箇所	NO. 1	～ NO. 7	21.0	0.5m3/箇所
							</

延長調書

左 側			右 側		
測 点	延 長	摘 要	測 点	延 長	摘 要
左 側 計	m		右 側 計	m	
			左 右 合 計		
			0.0 m		

